

主要施策成果等一覧表

「令和４年度における主要施策の成果に関する説明書」

(資料編)

- 1 令和４年度における新規事業及び拡充事業については、「事業内容・成果及び実施状況」の欄に【新規】又は【拡充】と記載しています。
- 2 決算額については、予算事業単位の決算額を記載していますので、「事業内容・成果及び実施状況」の欄に記載されていない事業の決算額を含んでいます。なお、単位は「千円」とし、千円未満は四捨五入しています。
- 3 直接的な予算の支出を伴わないものについては「熊取町第４次総合計画第２次実施計画」上の事業名を記載しています。

目 次

大綱1 一人ひとりの意識とご近所のふれあいで暮らしやすいまちをめざします

- (1) 住民協働・住民参画・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 地域コミュニティ・・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) 防犯・交通安全・消費生活・・・・・・・・・・・・・ 2
- (4) 防災・・・・・・・・・・・・・ 4
- (5) 男女共同参画・多文化共生・・・・・・・・・・・・・ 7
- (6) 平和・人権・・・・・・・・・・・・・ 8

大綱2 まちに愛着を持てる、たくましく生きる力を持つ子どもが育つまちをめざします

- (7) 子育て・・・・・・・・・・・・・ 9
- (8) 保育・幼児教育・・・・・・・・・・・・・ 12
- (9) 学校教育・・・・・・・・・・・・・ 13
- (10) 生涯学習・・・・・・・・・・・・・ 17
- (11) 文化・芸術・・・・・・・・・・・・・ 20

大綱3 だれもがいつまでも健康でいきいきと活躍できるまちをめざします

- (12) 健康・長寿・・・・・・・・・・・・・ 23
- (13) 保健・医療・・・・・・・・・・・・・ 25
- (14) 運動・スポーツ・・・・・・・・・・・・・ 27

- (15) 高齢者福祉・・・・・・・・・・・・・ 28
- (16) 障がい者福祉・・・・・・・・・・・・・ 31
- (17) 地域福祉・社会保障・・・・・・・・・・・・・ 33

大綱4 住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちをめざします

- (18) 市街地整備・・・・・・・・・・・・・ 35
- (19) 道路・交通・・・・・・・・・・・・・ 35
- (20) 下水道・・・・・・・・・・・・・ 38
- (21) 公園・自然環境・・・・・・・・・・・・・ 39
- (22) 住環境・・・・・・・・・・・・・ 40
- (23) 循環型社会・・・・・・・・・・・・・ 42
- (24) 商工業・サービス業・・・・・・・・・・・・・ 44
- (25) 農林業・・・・・・・・・・・・・ 46
- (26) 観光・交流・・・・・・・・・・・・・ 47
- (27) 雇用・就労・・・・・・・・・・・・・ 47

大綱5 健全で安定した持続可能なまちをめざします

- (28) 行財政運営・・・・・・・・・・・・・ 48
- (29) 情報の公開・・・・・・・・・・・・・ 51
- (30) 多種多様な連携・・・・・・・・・・・・・ 52
- (31) シティプロモーション・・・・・・・・・・・・・ 52

大綱Ⅰ 一人ひとりの意識とご近所のふれあいで暮らしやすいまちをめざします

(1) 住民協働・住民参画

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
1	協働推進事業 (企画経営課)	79	・協働によるまちづくりを推進するとともに、町内で活動する住民活動団体を支援する。	○令和4年度実施住民提案協働事業（9事業：補助額4,493千円） ■行政テーマ型（6事業） ・「YouTuber養成講座」 ・「こどもレストラン」 ・「奥山雨山自然公園エリアを活用した体験型環境教育」 ・「奥山雨山自然公園周辺における紅葉の保全・活用と魅力の向上」 ・「長池オアシス公園維持管理事業」 ・【新規】「エンタメ KUMATORI」 ■団体提案型（3事業） ・【新規】「人とペットに優しい街、くまとりプロジェクト」 ・【新規】「Market Kumatori」 ・【新規】「Viento Kitchen（子ども食堂）」 ○令和4年度採択状況（9事業 ※事業実施は令和5年度） ■行政テーマ型（5事業） ・「こどもレストラン」 ・「奥山雨山自然公園エリアを活用した体験型環境教育」 ・「奥山雨山自然公園周辺における紅葉の保全・活用と魅力の向上」 ・「長池オアシス公園維持管理事業」 ・「エンタメ KUMATORI」 ■団体提案型（4事業） ・【新規】「くまとり新規就農塾」 ・「人とペットに優しい街、くまとりプロジェクト」 ・「Market Kumatori」 ・「Viento Kitchen（子ども食堂）」

(2) 地域コミュニティ

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
2	町政連絡事務事業 (広報戦略課)	26,450	・町内の区・自治会の区長に町政連絡事務嘱託員を委嘱し、町行政と住民とのパイプ役を担っていただくことで、円滑な町政運営に繋げ、様々な活動等への支援を行う。	○町政連絡事務嘱託員連絡会の開催 年5回 ○各区・自治会の活動や取り組みなどについて情報の共有を図り、今後の活動の参考としていただけるよう、アンケート調査を実施。

(3) 防犯・交通安全・消費生活

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
3	防犯事業 (危機管理課)	23,091	・犯罪の抑止、防犯意識の醸成を図るため、自主的な防犯活動の支援を行うことにより、全ての住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。	○「安全なまちづくり推進協議会総会」の開催 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により書面開催 ○「熊取町安全パトロール隊」による地域パトロールの実施 ・実施回数総合計268回(ボランティア参加63回) 日中201回(ボランティア参加39回)、早朝18回(ボランティア参加4回) 夕刻25回、夜間24回(ボランティア参加20回) ○泉佐野警察署等関係機関との連携によるパトロールの実施 ・泉佐野警察署との情報交換 1回 ・警察との合同パトロール 2回 (わんわんパトロール・レディース防犯含む)
4	消費生活対策事業 (産業振興課)	4,242	・消費者教育や情報提供を推進するとともに、被害の拡大防止のための講演会を開催するなど、消費者保護を推進する。 ・消費者問題に対する相談体制を強化する。	○消費者月間における啓発講座の実施 ・開催日 令和4年5月31日 ・参加者 13名 ・テーマ 「続く巣ごもり！増える消費者トラブル(長引くコロナ禍で増える新卒の悪質商法)」 ○消費力向上を目的としたミニ講座の実施 ・開催日 令和5年1月24日、1月31日、2月7日、2月14日(全4講座) ・参加者 17名 ・テーマ 「そのリベンジ消費、ちょっと待った!!(シマッタ!と頭を抱える前に)」 ○小学5年生、中学1年生を対象とした講座の実施 ・テーマ 「気をつけよう!ネットやスマホ(知ろう!学ぼう!賢い消費者に

				なるために)」 ・対象者 小学生 399 人 中学生 406 人 ○消費生活センターの開設 ・消費生活相談の実施（月～金） 午後 1 時～5 時 ・年間相談件数：279 件 ※R3 の 164 件から大幅増 ・消費生活特別相談（弁護士対応） 令和 4 年 5 月 31 日：1 件 令和 5 年 2 月 7 日：1 件 ○各種啓発冊子の作成 ・若者向け消費者問題啓発用リーフレット「あま～い誘いにご用心」500 部作成 ・小学生向けリーフレット「みんなでステップアップ！」440 部 ・中学生向けリーフレット「中学生のかしこい消費生活」430 部
5	交通安全対策事業 （道路公園課）	8, 140	・交通安全意識と交通マナーの向上、 道路交通環境の安全性の確保、交通 事故防止に努める。	○熊取町「交通事故をなくす運動」推進本部事業活動の実施 ・交通安全教室の実施（対面教室・DVD 鑑賞等） 町立小学校 4 校・町立保育所 3 施設・民間保育園 5 園・民間幼稚園 2 園 ・春・秋の全国交通安全運動期間中の啓発活動の実施 駅前広場や主要交差点に横断幕、のぼり旗を設置。 ・浪商学園・泉佐野警察・熊取町によるマナーアップ作戦連絡会による交通安全指導の実施 府道泉佐野打田線における交通安全指導 6 回実施 ○高齢者運転免許自主返納支援の実施 ・満 65 歳以上の方で、運転免許の全部を自主返納した方及び令和 2 年 4 月より運転免許を失効し、運転経歴証明書の交付を受けた方に、有効期間 5 年間の町内循環バスの無料定期乗車券を交付（10 人）
6	放置自転車対策事業 （道路公園課）	10, 548	・駅前放置自転車等への街頭指導、定期的な移動、返還を行う。	○街頭指導・移動業務及び返還業務 ・委託先：公益社団法人熊取町シルバー人材センター 移動台数（自転車 81 台 バイク 4 台） 返還台数（自転車 27 台 バイク 2 台） ○【拡充】自転車等放置禁止区域の指定の変更 ・駅周辺の区域の指定に加え、熊取駅西交通広場の完成・供用開始に伴い、12 月 10 日から広場全域を区域に追加指定 ・熊取駅西交通広場に啓発看板設置（2 枚）及び駅周辺等の既設の啓発看板更新（7 枚）

(4) 防災

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
7	防災事業 (危機管理課)	6,742	・自主防災組織の育成及び支援を実施するとともに、自主防災組織訓練の活動を支援する。	○自主防災組織等の活動の支援 ・自主防災組織による訓練の実施（自主防災組織：実施組織数5組織, 実施回数5回, 参加人数1,558人、その他の団体：実施団体数2団体, 実施回数2回, 参加人数36人） ○自主防災組織連絡協議会の運営 ・自主防災組織の連携を高め相互の連絡調整を図ることにより地域の防災体制の充実強化に寄与することを目的として全自主防災組織が参加している自主防災組織連絡協議会において、全体会を1回開催 ○地区別自主防災マニュアルの作成促進 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域において、自主防災モデルマニュアルの説明会や勉強会の開催が困難な中、6地区で作成された。 ・令和4年度完成組織 6組織 ○【拡充】防災士フォローアップ研修の開催 自主防災組織及び本町で育成した防災士向けの研修を実施し、自主防災活動に必要な知識・技能の維持・向上を図った。 ・参加人数43人 ○【拡充】総合防災訓練の実施 住民参加のもと、大規模災害を見据えた総合防災訓練を実施。防災についての知識及び行動力を身につけ、自助・共助の意識向上を図ることを目的とした緊急地震速報、緊急速報メール・シェイクアウト訓練、職員安否確認訓練、災害対策本部設置訓練、指定避難所開設・運営訓練を実施した。 ・住民参加人数4,199人
8	消防団運営事業 (危機管理課)	17,841	・消防団装備等の計画的な整備及び適正な維持管理を行うとともに、消防団員の災害対応能力の向上を図る。	○消防団員訓練の実施 消防車両や積載ポンプ、資機材を用いて消防訓練を行うとともに、消防学校の教育訓練に参加し消防団員の技術力の向上を図った。 ・消防訓練：非常招集訓練、火災予防運動特別消防訓練 ・消防学校教育訓練：基礎教育課程、幹部課程、特別技術講習 ○消防団員の健康増進 消防団員の健康管理のため健康診断を実施した。 ・受診者：33人

9	消防施設管理事業 (危機管理課)	69,451	・消防団各分団の防災資機材を充実させ、分団車両及び分団器具庫を適正に管理し、消防力強化を図る。	○【拡充】消防団装備等の充実 令和4年度車両更新 ・救助資機材搭載型消防ポンプ自動車 2台 ・第1分団及び第3分団に配備 ○消防団車両の法定定期点検の実施 各分団車両とも年2回の点検を実施した。
10	泉州南消防組合運営事業 (危機管理課)	517,900	・泉州南消防組合として広域での消防業務を行い、消防力の強化を図る。	○泉州南消防組合への負担金の支出
11	民間住宅耐震改修等事業 (まちづくり計画課)	7,350	・「第2次熊取町耐震改修促進計画」に基づき、町内の住宅・建築物の耐震化率向上を図る。	○既存民間建築物耐震診断補助の実施 ・補助率：10/11 (上限 50,000円) ・補助金交付件数：3件 150,000円 ○木造住宅除却工事補助の実施 ・補助額：定額 400,000円 ・補助金交付件数：16件 6,400,000円 ○木造住宅耐震改修設計補助の実施 ・補助率 7/10 (上限 100,000円) ・補助金交付件数：1件 100,000円 ○木造住宅耐震改修補助の実施 ・補助額 定額700,000円 又は 900,000円 ・補助金交付件数：1件 700,000円
12	開発指導一般事務経費 (まちづくり計画課)	4,730	・空き家等の件数や老朽化による危険度等の実態を現地調査により把握し、今後の対策の基礎資料とする。	○【新規】熊取町空家等実態調査業務 ・契約期間 令和4年12月21日～令和5年3月27日 ・受託者 株式会社ゼンリン 関西支社 ・契約金額 4,730,000円 ※今後調査結果を踏まえ空家等対策審議会において対応策等を検討予定

13	河川一般事務経費 (下水道河川課河川農水室)	777	・土砂災害警戒区域に指定された地域における住民の円滑な避難を確保する上で必要な事項を記したハザードマップを自治会と協働で作成する。 ・土砂災害等における連携協力に関する協定書に基づく予防対策業務として土砂災害等アドバイザー業務の実施。	○土砂災害ハザードマップの作成・配布 つばさが丘西地区、つばさが丘東地区 ○【新規】土砂災害等技術アドバイザー業務 平常時からの土砂災害の未然防止や宅地防災の対策のため、「土砂災害等における連携協力に関する協定書」に基づく予防対策業務として実施。 ・現地調査 2回 土砂災害の可能性がある箇所、土砂災害警戒区域等の現地調査 ・住民向け宅地地盤相談会 1回 相談者2名 ・電子メールによる相談 3件 土砂災害の可能性がある箇所の安全性、現地調査結果に基づく対策工法等の土砂災害に関する相談 委託先：一般社団法人地盤品質判定士会
14	ため池等一般事務経費 (下水道河川課河川農水室)	4,678	・受益地がなくなったため池の廃止・処分	○五門濁池用地測量業務 ・水利組合から町有ため池廃止申出書が提出され、公有財産の処分に向け用地測量業務を実施
15	ため池等整備事業 (下水道河川課河川農水室)	17,017	・大規模地震に備え、貯水量が多く、下流への影響が高いため池について、大阪府の耐震診断の結果に基づき、今後の対策を検討する。 ・ため池・水路等の修繕を行い、ため池・水路等の適正な維持管理を行う。	○ため池耐震診断業務（大阪府実施） ・五門濁池他 ○朝代新池耐震測量設計業務 ・大阪府が実施した、ため池耐震診断結果で震度7程度の地震の揺れに対する耐震性能を有していないことが判明し、ため池の水位を低下させる必要があり、水位低下の対策として余水吐改修に向けた測量設計業務を実施。令和6年度に改修工事を実施予定。 ○口無池取水施設改修工事 ・口無池の樋門が経年劣化により機能しておらず、水位管理が適切に行えない状態であるため、樋門の改修工事を実施。
16	河川維持事業 (下水道河川課河川農水室)	19,921	・大雨時の河川の溢水、護岸の崩壊を未然に防止するため、河川の河床整備を行う。	○準用河川見出川河床整正他工事 ・若葉地区の準用河川見出川の流水により洗掘または堆積した河床の整正を行い護岸崩壊を防ぐ。 ○普通河川和田川護岸工事 ・山の手台地区の普通河川和田川における自然護岸の洗堀の防止及び護岸保護のため、護岸工事を実施。

(5) 男女共同参画・多文化共生

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
17	男女共同参画推進事業 (人権・女性活躍 推進課)	4,085	・情報誌の作成や講演会等の取り組みを通じて男女共同参画のための住民の意識づくりと職員の意識づくりを行う。また、DV等の暴力を許さな環境の整備と啓発を行うとともに、支援の際には各種関係団体と連携を図る。 また、令和3、4年度については次期(期間:令和5~14年度)男女共同参画プランを策定する。	○男女共同参画社会情報誌 「男女が”ともに”協力しあいながら…」の発行 ・発行回数 年1回(11月) ・配布先 全戸配布 窓口に設置 ・発行部数 16,500部 ○男女共同参画講座・講演会 ・開催日 令和4年6月26日 ・場 所 町民会館ホール 【午前・講座】 「知ってトクする!50代までに知っておきたい老後のお金~家計・貯金・保険~」 ・講師 加藤 葉子(ファイナンシャル・プランナー) ・参加者 36人 【午後・講演会】 「明るい家庭の家事リスト」 ※家族で協力し合いながら、楽しく自分らしく生きるためのヒントについてお話いただいたもの。 ・講師 野々村 友紀子 氏(放送作家) ・参加者 160人 ○【新規】熊取町第3次男女共同参画プランの策定 本町における男女共同参画社会の実現に向けての「施策の基本的方向とその推進方策」を定めた熊取町第3次男女共同参画プラン(期間:令和5(2023)年度~令和14(2032)年度)を策定 ・策定期間 令和5年3月 ・計画策定委託料 3,080千円 (令和3年度 1,386千円)(令和4年度 1,694千円)

(6) 平和・人権

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
18	平和推進事業 (人権・女性活躍 推進課)	0	・非核平和の意識高揚のため、多くの 住民が平和について考える機会を 提供する。	○「平和パネル・ポスター展」の開催 ・開催日 令和4年8月6日～31日(熊取図書館) ・平和に関するパネルと町内公立小・中学生が平和をテーマに描いたポスター 16点を展示(各小中学校から2点ずつ選出)
19	人権啓発事業 (人権・女性活躍 推進課)	1,357	・各種団体と街頭啓発や講演会等に取り 組み、住民へ向けた周知・啓発を行 う。また、人権侵害事象の早期発 見、防止に向け、各種団体と連携を 図る。	○人とひと・ふれ愛の集い 「心と心をつなぐ防災～人と人とのコミュニケーションが産む絆～」 ・開催日 令和4年12月11日 ・場 所 煉瓦館コットンホール ・講 師 桂 福丸 氏(落語家) ・参加者 65人 ○「人権ポスター展」の開催 ・開催日 令和4年12月1日～25日(熊取図書館) ・町内公立小・中学生が人権をテーマに描いたポスター16点を展示 (各小中学校から2点ずつ選出) ○人権相談の実施 ・毎月第1・3・4木曜日 午後1時～3時 ・相談件数 42件 (第2木曜日は、人権擁護委員による人権相談) ○人権啓発広報紙「しあわせへの道」の発行 ・発行回数 年2回(5月・12月) ・配布先 全戸配布、窓口に設置 ・発行部数 16,500部

大綱2 まちに愛着を持てる、たくましく生きる力を持つ子どもが育つまちをめざします

(7) 子育て

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
20	子育て支援事業 (子育て支援課)	32,927	・住民と行政の協働による子育て支援のネットワーク化を推進する。	○地域子育て支援拠点事業（委託事業） ・ふらっつ：週4日開催 ・延べ参加者数 大 人 1,404 人 子ども 1,529 人 合 計 2,933 人 ・であいの広場：週4日開催 ・延べ参加者数 大 人 1,159 人 子ども 1,607 人 合 計 2,766 人 ○「ファミリー・サポート・センター」 ・会員数 376 人（依頼会員 206 人、協力会員 132 人、両方会員 38 人）、サポート実績 861 件、協力会員養成講座（12 回）参加人数 201 人 ○ホームスタート事業の実施 ・訪問家庭件数 34 件[新規 23 件（内、産前 1 件）、継続 11 件（内、産前 0 件）]、オーガナイザー4 人、ホームビジター27 人、ホームビジター養成講座（9～11 月で 12 日間）、ホームビジター研修（8 回）、オーガナイザー研修（8 回）の実施 ○「赤ちゃんの駅」登録施設のPR ・令和4年度末時点登録施設数 22 か所 （公共施設 11、民間保育所・認定こども園 5、その他 6） ・広報及びホームページで登録施設随時募集 ○新型コロナウイルス感染症対策 ・消毒用アルコール等の購入 ・感染症対策を対象とする子育て支援事業委託料 ○【新規】子どもの権利に関する条例の制定（令和4年4月）に伴う周知・啓発 ・のぼり作成 ・啓発リーフレット作成（小学生用、小中学生用、大人用） ・町民文化祭同時開催のこどもまつりでブース設置等による啓発（1 回） ・講演会開催（1 回）

21	児童相談事業 (児童福祉総務費) (子育て支援課)	9,095	・虐待等の早期発見、適切な支援や専門的相談の実施及び保育所、幼稚園、学校等子どもに関わる機関の相談対応力の向上も図りながら、0～18歳までの子どもの健全育成と家庭状況の改善を行う。	○子ども家庭相談の実施 ・相談実件数 604 件 ○専門相談の実施 ・発達相談：63 回、ことばの相談：16 回、運動機能相談：17 回、医師の相談：10 回実施 ※学校教育課と連携協力して実施 ○保育所・幼稚園・小中学校・学童保育所巡回相談の実施（町立保育所 年 1 回、民間保育園および幼稚園 年 1 回、小中学校 年 2 回ずつ、学童年 2 回） ○児童虐待防止スーパーバイザーの配置（2 人） ○関係機関との個別ケース検討会議（47 回） ○家庭児童相談システム（情報共有システム）の活用 ・健康管理システム専用パソコン貸借等 ○新型コロナウイルス感染症対策 ・消毒用アルコール、除菌クロス等の購入
22	児童相談事業 (予防費) (子育て支援課)	1,464	・子どもと家庭の様々な相談にきめ細かく対応し、発育・発達のおくれ、疾病及び虐待等の早期発見・早期支援により、子どもの成長発達を保障する。	○医師による相談（小児科医 小児神経専門医 広汎性発達障がい専門医による相談）の実施 ・相談者数 57 人、12 回 ○心理相談（発達相談員による相談）の実施 ・相談者数 301 人、127 回

23	母子保健事業 (子育て支援課)	86,978	・不妊・不育治療費の助成、適切な妊婦健診、妊婦歯科健診の受診勧奨及び必要時保健師等による訪問を行い、必要な知識の提供及び保健指導を行うことにより、妊娠期から出産後まで切れ目のない支援を行う。 ・各種乳幼児健康診査や育児相談等を通し、子どもの疾病や育児不安などの早期発見や支援を行うとともに、各種教室を通じ、食事の大切さを啓発する等食育を推進し、健康的な食生活への支援を行う。	○【拡充】不妊・不育治療費助成事業の実施 ・申請受理延件数 128 件 (一般不妊：49 件、生殖補助医療(特定不妊)：78 件、不育：1 件) ○妊婦健診助成の実施 ・利用者実人数 423 人 ・利用回数 延べ 3,403 回 ○産婦健診助成の実施 ・利用者実人数 272 人 ・利用回数 延べ 481 回 ○妊婦歯科健診の実施 ・受診人数 82 人(対象者数 259 人、実施率 31.7%) ○産後ケア事業 ・利用者実人数 10 人(ショートステイ延べ 21 泊、・デイサービス延べ 5 回、短時間デイ延べ 0 回) ○【新規】産前・産後ヘルパー派遣事業 ・利用者実人数 6 人 ・利用回数延べ 116 回 ○新生児聴覚検査 ・受検者数 261 人 ○「こんにちは赤ちゃん訪問」事業の実施 ・助産師等による全戸訪問 ・訪問数 261 人(対象者数 282 人、実施率 92.6%) ○【新規】出産・子育て応援ギフト事業 ・出産応援ギフト 421 件 ・子育て応援ギフト 257 件 ○乳幼児健康診査の実施 - 受診人数 ・4 か月児健診 283 人(受診率 104.0%) ・1 歳 7 か月児健診 299 人(受診率 98.7%) ・2 歳 6 か月児歯科健診 326 人(受診率 97.0%) ・3 歳 6 か月児健診 322 人(受診率 97.0%) ○子育てアプリ(くまっこナビ) ・登録数 887 件(令和 5 年 3 月末現在)
----	--------------------	--------	--	---

(8) 保育・幼児教育

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
24	保育一般事務経費 (保育課)	4,808	・ 保育所の一般的な事務経費	○【新規】令和4年4月1日より、「西保育園」として町立西保育所の円滑な民営化移管を実施するとともに、運営に対して助言等の支援を行う。 保護者、西保育園、町の三者懇談会を開催し、民営化後の西保育園の保育内容について意見交換を行った。
25	民間保育所等助成事業 (保育課)	1,309,564	・ 民間保育所等の適正な運営及び保育内容を支援する。	○エネルギー等の物価高騰により影響を受ける子育て世帯の生活を支援するため、保育所、認定こども園、幼稚園を利用する町内在住の全児童の副食費の無償化(R4.12~R5.3) ○エネルギー等の物価高騰の影響を受けている民間保育園等に対して高騰分を支援することで、給食の内容を維持するなどのために、町内に所在する民間保育園等に補助金を交付 ○町内の民間保育所等に対して、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として必要な物品の購入にかかる補助金を交付 ○幼児教育・保育の無償化に伴い、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用者に対して、施設等利用給付費を給付 ○貝塚市との協定により、町の病児・病後児保育事業を貝塚市病児・病後児保育事業の広域利用により実施 ○保育士等処遇改善臨時特例事業補助金を交付し保育士等の賃金改善を実施 ○【新規】0歳から2歳児クラスに在籍する児童の使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、自園処分に係る補助金を交付
26	保育所運営事業 (保育課)	272,455	・ 安全で質の高い保育を提供する。	○待機児童“ゼロ”に向けた取組を実施 ・ 待機児童数 R4.4月 0人 ○【新規】東保育所の大規模修繕工事 ○町立保育所施設の維持管理 ・ 設備改修等 遊具安全点検及び修繕(全町立保育所)など ・ 備品等整備 保育用備品の更新(全保育所) ○町立保育所の新型コロナウイルス感染拡大防止対策として必要な物品を購入 ・ アルコール消毒液など(各保育所) ・ エアコン買替(1台)(中央保育所) ・ 【新規】0歳から2歳児クラスに在籍する児童の使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止し、自園処分に必要な物品を購入

27	学童保育運営事業 (保育課)	169,910	・学童保育所の適正な運営及び保育内容を支援する。	○待機児童数：R4.5.1 0人 ○【拡充】空き教室を活用し、長期休業限定学童保育所を開設した。(中央小学校・北小学校、西小学校) ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策として感染対策に必要な消耗品を購入 ○保育士等処遇改善臨時特例事業補助金を交付し支援員等の賃金改善を実施
----	-------------------	---------	--------------------------	---

(9) 学校教育

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
28	①小学校教育情報 化推進事業 ②小学校教育情報 化推進事業(明許 繰越) ③中学校教育情報 化推進事業 ④中学校教育情報 化推進事業(明許 繰越) (学校教育課)	①92,242 ② 1,721 ③27,675 ④ 537	・GIGAスクール構想における1人1台学習用端末の整備及び全学校 の高速ネットワーク環境の整備を 図る。	○全小中学校に1人1台学習用端末を整備 ・クロームブック 4,093台(R4末現在) (内訳) R2整備分4,082台 R3追加購入分 11台 R4追加購入分 0台 ○全小中学校における高速ネットワーク環境の整備(R2整備) ○全中学校に大型掲示装置(モニター)45台を整備(R2整備) ○ICT支援員3名の配置 ○「校務支援システム」の導入(R3整備) ○【新規】全小学校に大型掲示装置(電子黒板) ・137台整備 ○【新規】全小中学校遠隔授業用の備品を整備 ・ビデオカメラ39台、ワイヤレススピーカー8台、 ワイヤレスマイク29台 ○【新規】全小中学校校務用PC整備 ・74台

29	①小学校感染症対策等支援事業 ②小学校感染症対策等支援事業（明許繰越） ③中学校感染症対策等支援事業 ④中学校感染症対策等支援事業（明許繰越） （学校教育課）	①1,189 ②7,648 ③ 629 ④4,049	・感染リスクを最小限にしながら学校を再開し、十分な教育活動を継続するため、学校長の判断にて感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保障する体制を整備する。	○各小中学校に感染症予防のために必要な消耗品や備品を購入 ○感染症予防の徹底しながら行う学習を行うための消耗品・備品を購入
30	①小学校保健事業 ②中学校保健事業 （学校教育課）	①8,332 ②5,213	・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各学校での子どものものの日常の検温報告について、アプリの導入により教職員の負担軽減を図る。	○【新規】「健康観察アプリ」の導入
31	①小学校教育振興事業 ②中学校教育振興事業 （学校教育課）	①7,973 ②7,098	・「蔵書検索システム」の導入により学校図書館における図書検索の迅速化と蔵書管理の効率化を図る。	○【新規】「蔵書検索システム T00Li-S」の導入 ○【新規】「T00Li-S ぽけっと図書館」追加導入 ・児童生徒が各自1人1台 GIGA 端末を使っの図書検索が可能となった。
32	外国青年英語指導助手招致事業 （学校教育課）	25,090	・各小中学校に ALT（英語指導助手）を配置し、英語教育の充実を図る。	○情報や考え方などを理解したり伝え合う資質・能力を育成するため、外国人英語指導助手（ALT）を配置。 ・4月～7月：4名（小学校：1名、中学校：3名） 小学校：週3日…1校、週1日…4校 中学校：週5日…1校、週4日…2校 ・8月～3月：6名（小学校：3名、中学校：3名） 各小学校：週3日 各中学校：週4日
33	①小学校運営事業 ②中学校運営事業 （学校教育課）	①108,145 ②27,791	・学校図書館環境の充実を図り、児童生徒の図書活動を推進する。	○学校図書館司書の配置 ・全小中学校に配置（小学校週5日、中学校週4日） ・「学校図書館司書連絡会」の実施（11回） ・「研修会・選書会」の実施（5回・112回） ・学齢期子ども読書活動推進連絡会の実施（2回）
34	学習支援ボランティア派遣事業 （学校教育課）	440	・きめ細かい学習支援と開かれた学校づくりを目的とする。	○登録人数 29人 ○8小中学校に派遣した回数 延べ 383回

35	スクールソーシャルワーカー活用事業 (学校教育課)	17,533	・児童生徒の問題行動や児童虐待等に対して多面的な支援を実施し、課題を解決する。	○【拡充】「スクールソーシャルワーカー」の配置（５人から６人に増員） 非行や不登校、いじめなどの課題解決に向けて、相談活動や家庭訪問等を実施 ・人数等 中央小学校 １人 週４日 西 小学校 １人 週４日 南 小学校 １人 週４日 東 小学校 １人 週４日 北 小学校 １人 週４日 熊取北中学校 １人 週４日
36	児童相談事業 (学校教育課)	2,412	・何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、不登校や集団不適応の状況にある児童生徒の増加する中、保護者や家庭を支援する相談体制を充実させる。	○「教育相談カウンセラー」（臨床心理士）の配置 ・成績、進路、生活、発達などの課題解決に向けた相談のうち対応が必要と判断した案件が対象 ・人数 教育相談担当 ２人 発達相談担当 ２人 ・教育・子どもセンターにおいて、水、木、金に相談を実施
37	安全・安心なまちづくり事業 (学校教育課)	270	・小学校４年生全児童及び初任者教職員等にCAPプログラム（暴力防止プログラム）を実施するとともに、全小中学校に設置している学校防犯システムを活用して学校内の安全確保を推進する。	○自分の命は自分で守るプログラムとして、小学校４年生全児童および教職員にCAPプログラム（暴力防止プログラム）を実施する。 ・受講学級数 12学級 ・教職員対象 １回 ・講師：特定非営利活動法人CAPいずみ ・全小中学校に学校防犯システムを導入し、児童生徒の入退校を管理する。
38	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 (学校教育課)	2,732	・全小学校区にスクールガード・リーダーを配置し、連携を密にしながら学校の安全確保に努めるなど、子どもたちの安全を守る取組みを推進する。	○全小学校区へ「スクールガード・リーダー」を配置 ・人数 ５人 ・ローテーションを組みながら小学校区を巡回し、教育委員会及び学校と情報を共有
39	英語民間試験補助事業 (学校教育課)	579	・生徒の英語の定着状況を把握するとともに施策の検証検証を図る。	○中学３年生において英検３級相当以上の生徒の割合は58.2%となり、国の目標である50%を超えた。
40	DASHプロジェクト推進事業 (学校教育課)	162	・大阪体育大学と連携し、大学生によるスポーツ指導者の派遣を行い中学校の運動部活動の活性化と教職員の負担軽減を図る。	○【新規】スポーツ技術指導や安全・傷害予防、用具・施設の点検や管理等クラブ顧問の補助を行った。 ・熊取中学校１校に派遣 派遣回数12回

41	①小学校維持管理事業 ②小学校維持管理事業（明許繰越） ③小学校大規模改造事業（明許繰越） ④中学校維持管理事業 ⑤中学校維持管理事業（明許繰越） （学校教育課）	①129,211 ② 24,323 ③140,779 ④ 89,548 ⑤ 42,522	・小・中学校施設・設備面において適時適切に整備を行い良好な教育環境を確保する。	①小学校施設の維持管理 ・【新規】屋内運動場LED照明賃借（中央小、西小、南小、北小） ※東小についてはR2大規模改造事業にて実施 ・遊具修繕（西小、南小、北小、東小） ・音楽室カーペット修繕（中央小） ・渡り廊下パネル設置（南小） ・交通安全施設（安全柵）設置（南小） ・支援教室増設に伴う内装修繕及び空調設置（中央小） ・給食室スポットクーラー設置（小学校5校） ・多目的室空調設置（西小） ②小学校施設の維持管理 ・グラウンド改修工事（南小） ③小学校施設の大規模改造事業 ■大規模改造工事2期（東小） ・屋根改修工事 535 m² ・外壁改修工事 1,042 m² ・内装改修（床改修）工事 937 m² ・電気設備工事一式 ・機械設備工事一式 ・上下水道改修工事一式 ・その他工事一式 ④中学校施設の維持管理 ・【拡充】防犯カメラ録画機設置業務（北中、南中） ・中央校舎、南校舎教室床等改修工事第2期（熊中） ・渡り廊下鉄扉改修工事（南中） ・下水道接続工事（南中） ・給食室スポットクーラー設置（中学校3校） ⑤中学校施設の維持管理 ・トイレ洋式化改修工事第1期（熊中）
----	--	--	---	--

42	①小学校給食事業 ②中学校給食事業 (学校教育課)	①160,691 ② 69,700	・安全でおいしい学校給食の充実を図るとともに、学校給食の適正な管理、運営を図る。	①小学校給食事業 ・【拡充】生ごみ処理機導入(西小、南小、北小、東小) ・計画的な給食備品の更新 食器洗浄機(東小)、ガス回転釜(西小)、マイコンスライサー(南小) ・新型コロナウイルス感染症に係る学校給食無償化(全小中学校：R4.12～R5.3) ・学校給食費緊急事態対策補助金(小・中) ・【新規】『献立作成システム』導入(小・中) ②中学校給食事業 ・計画的な給食備品の更新 食器洗浄機(熊中) ・新型コロナウイルス感染症に係る学校給食無償化(全小中学校：R4.12～R5.3) ・学校給食費緊急事態対策補助金(小・中) ・【新規】『献立作成システム』導入(小・中)
----	---------------------------------	----------------------	--	--

(10) 生涯学習

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
43	社会教育一般事務 経費 生涯学習推進事業 (生涯学習推進課)	160 10	・平成29年度策定の熊取町第4次生涯学習推進計画策定から5年が経過することから、人生100年時代の到来を見据え生涯にわたり学び続け活躍できる環境づくりに対応するため、また、今後5年間の本町の生涯学習施策を計画的に推進するため、令和5年2月に「熊取町第4次生涯学習推進計画改訂版」を策定する。	○【新規】熊取町第4次生涯学習推進計画改訂版・概要版の策定 ■社会教育委員会における議論 ・第1回 第4次生涯学習推進計画の見直しについて ・第2回 生涯学習アンケートの集計結果について ・第3回 熊取町第4次生涯学習推進計画中間見直し(素案)について ・第4回 熊取町第4次生涯学習推進計画(改訂版)(案)について ■生涯学習に関するアンケートの実施 18～85歳 無作為1,000人(回答率36.9%) ■パブリックコメントの実施
44	放課後子ども教室 推進事業 (生涯学習推進課)	392	・放課後や週末に子どもたちの安全・安心な居場所を確保し、地域のボランティアの参画により、様々な体験活動、交流活動を推進する。	○「くまとり元気広場」の実施 ・実施場所 煉瓦館、中央小学校グラウンド、北コミュニティルーム(熊取北中学校敷地内)他 ・開催回数 146回 ・参加者数 延べ1,079人

45	子育て支援放課後 自習室事業 (生涯学習推進課)	375	・町内3中学校の余裕教室及び煉瓦館 を活用した「放課後自習室」を実施 し、子どもの安全な居場所づくりを 行う。	○中学校放課後自習室の開設 ・実施場所 熊取中学校、熊取北中学校、熊取南中学校、煉瓦館 ・開設日数 53日 56教室 (熊中9日9教室、北中7日7教室、 南中6日6教室、煉瓦館31日34教室) ・参加者数 延べ 83人 (熊中16人、北中2人、南中55人、煉瓦館10人)
46	公民館・町民会館 整備事業 (生涯学習推進課)	252,312	・公民館・町民会館の大規模改修・町 民会館ホールの建て替えを行う。	○熊取町公民館・町民会館整備事業 基本設計・実施設計業務 ・契約期間 令和3年3月31日～令和4年7月31日 ・受託者 株式会社アール・アイ・エー大阪支社 ・契約金額 70,400,000円(債務負担行為設定) ○(仮称)熊取町公民館・町民会館整備工事 ・契約期間 令和4年11月11日～令和6年2月14日 ・受託者 株式会社旭工建 ・契約金額 1,516,891,200円(税込) ■令和4年度中の工事進捗状況(完了部分) ・旧ホール解体工事 ・公民館内装解体工事 ・新築ホール 土留工事、杭材料搬入 ○(仮称)熊取町公民館・町民会館整備工事監理業務 ・契約期間 令和4年11月11日～令和6年2月14日 ・受託者 株式会社アール・アイ・エー大阪支社 ※設計事業者 ・契約金額 33,000,000円(税込) ○町民会館ホール建設に伴う埋蔵文化財発掘調査 ・期間 7月27日～12月28日 ・受託者 株式会社島田組 ・契約額 24,956,910円(税込) ・成果等 ホール建設予定地は平安時代末期に建立されたと考えられる「東円 寺跡」の遺跡内に所在することから、建設地全面調査を実施した。 東円寺で使用されていたと思われる瓦やその後の鎌倉時代の建物 跡(柱穴)や土器などを検出した。
47	図書館運営事業 (図書館)	54,253	・まちづくりの情報拠点として機能す るよう、新鮮な資料や地域資料等を 幅広く収集するとともに、住民の課 題解決に役立つ情報の提供に取り組 む。	○図書及び雑誌等の購入 ・図書 一般書 5,043冊 児童書 2,956冊 ・視聴覚資料 音楽CD 66点

				・逐次刊行物 雑誌 137 誌 新聞 9 紙 ○住民への情報提供や貸出につながるような様々な資料の展示 292 回（うち地域（行政含む）と連携した展示 52 回） ○【新規】熊取電子図書館の導入（令和 4 年 10 月～） ・コンテンツ数：約 33,000 点 ・利用者数：1,774 人 ・貸出数：2,974 点
48	図書館施設管理事業 （図書館）	19,905	・安全・快適に施設が利用できるよう、適切な維持管理に努める。	○館内外照明 LED 化（利用者用トイレ以外・10 年リース） ○空調設備機器修繕（地下書庫系統、冷却塔ファン発停用温度調節器） ○非常照明用バッテリー取替修繕 ○受水槽修繕（ボールタップ・定水位弁取替）
49	図書館ふれあい事業 （図書館）	384	・住民の自主的な学習、文化活動を支援するため、多様な学習機会を提供し、会議室やホールの活用を推進するとともに、子どもの育ちを支援する。	○新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで実施した。 ■講演会「お城のイロハと岸和田城」 ・開催日：令和 4 年 10 月 16 日（日） ・参加人数：62 人 ・共催：くまとり読書友の会 ■講演会「稻荷山のお塚」 ・開催日：令和 5 年 3 月 12 日（日） ・参加人数：41 人 ・共催：大阪観光大学、くまとり読書友の会 ■講演会「フィジーの暮らしとごはんのおはなし～手軽で栄養満点！子どもが喜ぶレシピ教えます」 ・開催日：令和 4 年 10 月 1 日（土）、10 月 3 日（月） ・参加人数：30 人 ・共催：JICA 関西 ■まちセミナー「令和 6 年度相続登記義務化！？分かって安心楽しい相続登記セミナー」 ・開催日：令和 4 年 5 月 28 日（土） ・参加人数：37 人 ・協力：熊取商工会、まちづくり計画課 ■健康講座「検査が変われば治療が変わるー進化する眼科検査と治療ー」 ・開催日：令和 4 年 4 月 16 日（土） ・参加人数：34 人 「知っておきたい！白内障手術で最も大切なこと」 ・開催日：令和 4 年 10 月 22 日（土） ・参加人数：24 人 ・共催：南大阪アイクリニック

50	読書活動推進事業 (図書館)	355	・子どもの読書活動を推進するとともに、子育て支援事業を行う住民等への支援を行う。	○ブックスタートの実施（毎月乳幼児4か月児健診時） ・284人にブックスタートパックを手渡す ○調べる学習応援講座 ・開催日：令和4年7月24日（日） ・参加人数：12人 ○第10回図書館を使った調べる学習コンクール開催 ・応募人数 426人 ○ブックガイド「ほんのもり」（低・中・高学年、中学生向け4種類、学校司書と協同発行）作成。全校児童・生徒に配布。
----	-------------------	-----	--	---

(11) 文化・芸術

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
51	公民館文化事業 (生涯学習推進課)	1,775	・住民の日頃の活動成果を発表する機会や場の提供及び優れた文化芸術の公演を行い、町民文化の活性化を図る。	○第30回「町民文化祭」 ・開催日 11月5日、6日 ・参加者数 舞台発表者 24組251人 作品出品者 48組451点 来場者数 2,098人 ○ファミリー・サマー・コンサート ・開催日 8月7日 ・参加者数 出演者 11組 来場者数 178人 ○町内中学校合同音楽祭 ・開催日 11月12日 ・来場者数 180人 ・出演者 熊取中学校吹奏楽部、熊取南中学校吹奏楽部、大阪体育大学浪商中学校・浪商高等学校吹奏楽部、熊取北中学校合唱部 中野ひろしとスイングガイズオーケストラ（スペシャルゲスト） ○泉南地区少年少女合唱団 交流・交歓演奏会 ・開催日 11月20日 ・出演者 泉佐野市少年少女合唱団、貝塚少年少女合唱団、泉南市ジュニア合唱団、熊取町少年少女合唱団 ・来場者数 77人 ○公民館・町民会館ありがとうお笑いライブ ・開催日 11月26日 ・出演者 ティーアップ、マルセイユ、ネイビーズアフロ、ビコーン、相乗効果 ・来場者数 300人

52	中家住宅運営事業 (生涯学習推進課)	567	・各種文化事業を行い、住民の文化の活性化を図る。	○中家手づくりコンサート ・開催日 7月30日 ・出演者 日本民謡寿鳳会 五十嵐君スターシードかもん ・来場者数 43人 ○能楽体験 ・開催日 9月23日 ・出演者 観世流シテ方能楽師 松野浩行氏 ・来場者数 50人 ○中家@（あっと）ほ～む寄席 ・開催日 3月11日 ・出演者 月亭文都 笑福亭笑利 桂三実 ・来場者数 50人 ○くまとりドキドキ博物館（補助事業） ・開催日 11月5日、6日 ・内容 歴史ガイドウォーク、山野草教室、藍染体験会、煉瓦館市 ・来場者数 800人 ・主管 くまとりドキドキ博物館実行委員会 ○くまとりドキドキ博物館桜まつり（補助事業） ・開催日 3月24日 ・内容 そば打ち実演販売、中家住宅解説、 藍染作品販売、縁日 ・来場者数 500人 ・主管 くまとりドキドキ博物館実行委員会
53	熊取交流センター 運営事業 (生涯学習推進課)	476	・歴史資料の展示や各種文化事業を行い、住民の文化の活性化を図る。	○煉瓦館企画展 ・土丸・雨山城跡写真展 開催日 6月13日～30日 来場者数 不明（カウントせず） ・米田瞳作品展 開催日 11月7日～13日 来場者数 不明（カウントせず） ・熊取の歴史と文化展 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (開催予定日 9月)

				○交流ホールコンサート vol.32、vol.33 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 (開催予定日 6月20日、令和4年2月) ○くまトリイルミネーションナイトの実施 ・実施期間 12月1日～25日 ・煉瓦館をイルミネーションライトで飾り付けたほか、保育所作品展を実施 ・来場者数 4,465人 ○クリスマスコンサート ・開催日 12月24日 ・出演者 柳浦香澄氏(ヴァイオリン) ・来場者数 160人 ○藍染め体験事業 ・実施期間 6月～11月 ・体験者数 125人
54	文化財保護事業 (生涯学習推進課)	914	・町内文化財の保存と活用を図る。	○重要文化財降井家書院保存修理工事 令和2年6月より修復工事が着手され、2年度～3年度で茅葺屋根の葺替工事など建物工事を実施し、3年度～4年度では障壁画修復工事が国庫補助事業として行われ、熊取町からも補助金を交付している。 ・令和4年度補助金額 719,000円 ・全体事業の概要 工期 令和2年6月1日～令和4年12月31日 総事業費 66,730,948円 国庫補助金額 56,719,000円 熊取町補助金額 5,004,000円 ○熊取町指定文化財の指定 1. 指定物件 (1)熊取村誌関係資料(有形文化財 歴史資料) ・熊取郷土調査基本編 1冊 ・乾板写真 一式 ・熊取村志 1冊 ・郷土調査資料原稿 1冊 (2)旧熊取村道路元標(史跡) 2. 指定年月日 令和5年2月10日

大綱3 だれもがいつまでも健康でいきいきと活躍できるまちをめざします

(12) 健康・長寿

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
55	タピオステーション等推進事業 (健康・いきいき 高齢課)	4,567	・高齢者を年齢や心身の状況等によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、地域においてリハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取り組みを推進し、要介護状態等となることの予防を推進する。	○住民運営の通いの場「タピオステーション」の立ち上げ ■立ち上げ実績 ・R4は、2カ所の新規立ち上げを行った。 ・R4末時点 26カ所立ち上げ(H27:1カ所、H28:2カ所、H29:10カ所、H30:7カ所、R1:4カ所、R4:2カ所) ■支援内容 ・継続支援として、専門職や「タピオステーション応援団」(よしもと若手芸人の派遣(18カ所)、町内大学の学生や地域ボランティア(6カ所)の参画のコーディネート、効果測定のための体力測定(19カ所)を実施。 ※上記の活動を感染対策を講じながら実施。 ・タピオステーション等運営支援補助金を活用し、活動の継続支援や感染予防対策の資材等購入に対し支援を行った。(18地区)
56	高齢者保健事業・ 介護予防一体的実 施事業 (健康・いきいき 高齢課)	3,421	・後期高齢者医療保険加入者を対象に、集団健診の結果による生活習慣病等重症化予防保健指導と、「フレイルチェック」および「フレイル相談」を実施し、運動・栄養・歯科など専門職との関わりの充実や必要な支援につなげる。	○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 次の業務へ専門職を配置 ■高齢者に対する個別的支援 ・生活習慣病等重症化予防 (受診勧奨対象者数:42名、受診確認者数:30名) ■通いの場等への積極的な関与 ・健診時、体組成計及び質問票でのフレイルチェック (実施数:1,352人、フレイル該当者:211人) ・健診後、フレイル該当者にフォロー事業を実施 (運動:36人、栄養:20人、口腔:10人) ・タピオステーションでのフレイルチェックと健康教育を実施(体組成測定と栄養指導) (実施数:203人)

57	DASH プロジェクト 推進事業 (健康・いきいき 高齢課)	158	・住民の健康増進及び本町の活性化を 図るため、大阪体育大学との協働に より、『“熊取町×大阪体育大学” DASH プロジェクト』を実施する。	○フレイル予防マスター講座の開催 ■タピオステーションでの体力測定ボランティアをはじめとする健康づくり ボランティアの担い手を育成するためにフレイル予防マスター講座(5講 座)を開催。また、本講座受講者の内、大阪体育大学主催の「体力若返り 講座」受講者へ参加費の一部を助成。 【実施内容】 ・フレイル予防マスター講座(5日間コース)(参加者:延べ150人) ・健康づくり推進ボランティア育成助成金(助成者:6人)
58	子ども等予防接種 事業 (子育て支援課)	100,945	・感染症及びまん延を予防する。	○風しんワクチン等接種費用助成事業の実施 ・対象者 風しん抗体検査の結果、抗体を保有していないと判定された人の うち、妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊婦の配偶者 ・助成者数 46人 ○風しんの追加的対策(第5期定期接種) ・抗体検査実施人数:45人 ・予防接種実施人数:7人 ○HPV(ヒトパピローマウイルス)予防接種の積極的勧奨再開 ・定期接種対象(中1~高1年生相当女子)802人 ・キャッチアップ接種対象(H9~17年生)1,517人 ○インフルエンザ予防接種費用助成事業 ・助成者数 中学3年生 239人 高校3年生相当 176人 妊婦 87人

(13) 保健・医療

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
59	健康増進事業 (健康・いきいき 高齢課)	34,128	・がん検診の利便性の向上による新規 受診者の獲得を目的とし、協会けん ぽの特定健診とがん検診の同日実 施を行う。受診勧奨については、電 話による再勧奨に加え、ハガキによ る再勧奨を実施することで若い世 代のがん検診受診の促進に努める。	○がん検診の推進 ■協会けんぽの特定健診とがん検診等の実施 ・R4.12.19：胃・大腸・肺がん検診 ■祝日レディースセット検診の実施 ・実施日 令和4年9月4日(日) ・内 容 胃・大腸・乳・子宮及び骨粗しょう症検診 ・受診者数 延べ464名 ■乳がん検診初診年齢(40歳)及び子宮頸がん検診 ・初診年齢(20歳)へのクーポン券送付 ・送付数 乳がん267名、子宮頸がん250名 ・利用者数 乳がん62名、子宮頸がん24名 ・利用率 乳がん23.2%、子宮頸がん9.6% ■受診勧奨の実施 ・ハガキによる受診勧奨の実施 ア. 節目年齢(40・45・50・55・60歳)の肝炎ウイルス検診受診者の内、令和4年度検診未受診者へ5がん(胃・大腸・乳・子宮・肺)の受診勧奨を実施(432名) イ. 25・30・35歳の女性の内、令和4年度子宮頸がん検診未受診者へ受診勧奨を実施(490名) ウ. 「過去5年間で大腸がん検診を受診した者の内、令和4年度に大腸がん検診未受診者である61～68歳」へ3がん(胃・大腸・肺)の受診勧奨を実施(721名) エ. 乳がんクーポン対象者のうち未受診者へ受診勧奨(238名) オ. 子宮がんクーポン対象者のうち未受診者へ受診勧奨(239名) ■医療機関の協力を得て、かかりつけ医からがん検診の個別受診勧奨を実施 ・勧奨用チラシ作成 1,000枚 ・協力医療機関数 14機関

60	総合保健福祉センター維持管理事業 (健康・いきいき高齡課)	40,735	・町民の健康の保持増進を図るとともに、町民相互の世代を超えたふれあいを深め、広く町民の保健福祉の向上に寄与することを目的とする総合保健福祉センターの適正な維持管理を行う。	○【新規】熊取町立総合保健福祉センター空調設備更新工事設計業務 ・契約期間 令和4年11月18日～令和5年2月28日 ・受託者 株式会社 サンセンエンジニアリング ・契約金額 9,020,000 円
61	感染症対策事業 (健康・いきいき高齡課)	3,632	・感染症対策については、PCR 検査の体制整備及び手指消毒液などの感染症対策物品の確保に努める。	○PCR検査【熊取モデル】 関西医療大学との連携協定に基づき、新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策とする PCR 行政検査の受入および町内事業所のクラスター対策としての PCR 検査体制を構築し、PCR 検査「熊取モデル」としてまん延防止に取り組む。 【検査実績】 ・行政検査 1,971 件 (R4) ・クラスター対策 484 件 (R4)
62	新型コロナウイルスワクチン接種事業 (健康・いきいき高齡課)	305,106	・新型コロナウイルスワクチン接種の接種体制の構築及び接種の推進を図る。	○新型コロナウイルスワクチン接種の実施 新型コロナウイルスワクチン接種について、医師会や関係機関の協力のもと接種体制の整備を行うとともに接種の推進を図った。 ・町内協力医療機関：21 医療機関 ・接種実績 (R5.3.31 時点) 1 回目接種者数：33,786 人 (87.3%) 2 回目接種者数：33,662 人 (87.0%) 3 回目接種者数：27,899 人 (72.1%) 4 回目接種者数：18,278 人 (47.2%) 5 回目接種者数：10,900 人 (28.2%)

(14) 運動・スポーツ

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
63	①社会体育推進事業 ②体育施設維持管理事業 (生涯学習推進課)	①103,646 ②4,836	・活動環境の整備として引き続き指定管理者による管理運営を行うなど、住民サービスの向上と経費の縮減を図る。	○総合体育館等指定管理の委託 ・委託期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間) ・委託施設 総合体育館、町民グラウンド、 町民グラウンド内テニスコート ○総合体育館プール室シャワー修繕 686,400 円 ○総合体育館プールA H U空調ファンモーター修繕 849,200 円
64	社会体育推進事業 (生涯学習推進課)	103,646	・住民ニーズに即応した地域スポーツ行政の充実を図る。 ・「くまとりスポーツコミッション」の活動支援を行う。	○指定管理者によるスポーツ教室等の実施 ・プール 34コース 延べ24,966人 ・アリーナ 17コマ 延べ6,763人 ○第23回くまとり太極拳フェスティバルの開催 延べ500人 ○くまとりスポーツコミッションくまとり武道祭の開催 延べ500人
65	社会体育推進事業 (生涯学習推進課)	101,265	・スポーツへの参加意欲を高める機会を創出する。	○「全日本バレーボール小学生大会関西予選」の開催 ・開催日 令和4年6月4日 ○「第34回大阪府年齢別トランポリン競技選手権大会」の開催 ・開催日 令和4年6月11日、12日 ○「スズキジャパンカップ大阪府大会」の開催 ・開催日 令和4年6月12日 ○「スポーツエアロビック2022大阪オープン」の開催 ・開催日 令和4年7月9日 ○「シニアチャンピオンシップ in 関西(大阪府ドッジボール協会)」 ・開催日 令和4年8月14日 ○第15回大阪府ジュニアトランポリン競技大会 ・開催日 令和4年8月21日 ○「2022年度関西大学バスケットボール大会リーグ戦」の開催 ・開催日 令和4年10月23日 ○「フリーグディビジョンⅠ第Ⅱ節 シュライカー大阪 vs バルドラール浦安」 ・開催日 令和4年11月6日

66	町民総合体育大会 運営事業 (生涯学習推進課)	1,946	・住民の健康増進とスポーツ振興を推進するとともに、住民相互の親睦に寄与する。	○「町民総合体育大会」の開催(17種目) 延べ1,500人 ○くまとりスポーツフェスティバル 延べ339人
67	くまとりロードレース事業 (生涯学習推進課)	3,400	・住民のスポーツ振興と健康づくりの促進に寄与するとともに、広域的な交流機会を提供する。	○「第33回くまとりロードレース」の開催 令和5年3月5日 482人(3km、10km)

(15) 高齢者福祉

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
68	高齢者福祉事業 (健康・いきいき 高齢課)	11,986	・現在実施している高齢者緊急通報事業に高齢者の見守り機能を追加し、自宅で健康に不安のあるひとり暮らし高齢者等に対して看護師が声かけをすることで不安を解消し、安心して生活できるよう支援する。	○独居高齢者の支援 ひとり暮らしの高齢者の緊急時や災害時に第三者へ通報できる緊急通報装置の設置に加え、ひとり暮らし高齢者の見守りの観点でのお元気コール(月1回コールセンターからの電話により健康状態を確認する。)を追加オプションとし、独居高齢者みまもり事業および緊急通報装置貸与事業として取り組む。 ・令和5年3月31日付利用者 171名(うちお元気コール利用者62名)
69	老人憩の家維持管理事業 (健康・いきいき 高齢課)	22,523	・高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供しもって高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的とする老人憩の家の適正な維持管理を行う一方で、耐震化が必要な施設については耐震化及び長寿命化を併せて進める。	○【新規】老人憩の家併設地区集会所の耐震化 ・老人憩の家併設地区集会所について、各地区と調整のうえ、耐震診断を実施した。 ・実施地区：五門, 紺屋, 成合, 七山, 大久保 ※紺屋及び成合は耐震基準以内の診断結果であった ※野田は令和5年度診断予定
70	老人福祉センター 維持管理事業 (健康・いきいき 高齢課)	11,118	・地域の高齢者に対して、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、もって高齢者に健康で明るい生活を営ませることを目的とする老人福祉センターの適正な維持管理を行う。	○【新規】熊取町立老人福祉センター耐震補強工事等実施設計業務 ・契約期間 令和4年11月18日～令和5年3月27日 ・受託者 株式会社 小河建築設計事務所 ・契約金額 6,050,000円

71	介護予防・生活支援サービス事業 (介護保険課)	75,449	・下記サービス・資源を利用し、自立支援、重度化防止につなげる。 ○通所型サービス事業 ・現行相当サービス ・緩和型サービス A ・通所型サービス C ○訪問型サービス事業 ・現行相当サービス ・緩和型サービス A ・訪問型サービス C ○介護予防ケアマネジメント	○訪問型サービス 1,584 件 ・現行相当サービス：1,401 件 ・緩和型サービス A：183 件 ・訪問型サービス C：5 件 ○通所型サービス 1,845 件 ・現行相当：1,198 件 ・緩和型 A：647 件 ○ふれあい元気教室（通所型サービス C） ・【新規】要介護（要支援）新規申請窓口受付時の申請者の現状を把握するための窓口シートを導入し、個々の状態に応じた説明・支援を行った。 ・自立支援型地域ケア会議をふれあい元気教室のアセスメント評価会議と一本化し、大阪府アドバイザーを配置する等見直しを行い、効果的・効率的に実施した。 ・令和 4 年度から年間 2 クールを 3 クールに拡充し、理学療法士、健康運動指導士等の専門職による運動指導、口腔・栄養面の指導により生活機能向上を図った。 ・利用者：30 名／年 3 クール ・専門職の同行訪問を実施することにより、利用者一人ひとりの生活課題を明確にすることで教室修了者の多くは生活機能が向上し介護サービスを利用せず暮らすことができており、給付費の増加の抑制に繋がった。 同行訪問実施件数：40 人
72	一般介護予防事業 (介護保険課)	21,143	・要介護・要支援状態にならないよう支援する。	○みまもりアンケート ・地域の実情に応じ効果的かつ効率的に収集した情報を活用して、一人暮らしや閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、見守り支援や介護予防活動等の必要な支援を令和 4 年度は南小学校区で実施。 ・対象者：①65 歳以上のひとり暮らし高齢者 319 人 ②75 歳以上の高齢者 432 人 ・アンケート対象者：751 人 ・回収率 75.1% ・アンケートの結果により総合事業案内：225 人 ・地域包括支援センターへの情報提供者数 20 人

73	包括的支援事業 (介護保険課)	67,777	・医療と介護の連携を強化し「地域包括ケアシステム」の構築を図る。	○地域包括支援センター業務委託 ・総合相談件数 1,255 件 ・予防事業 253 件 ・権利擁護 21 件 ・認知症サポーター養成講座の開催 15 回 (539 人、累計 4,149 人) 【拡充】全小学校(5 校)において 5 年生または 6 年生にキッズサポーター養成講座を実施(5 回 378 人 上記回数人数に含む) ・認知症カフェ in ふれあいセンターの開催(町主催) 5 回 参加者: 29 人 ・巡回相談 20 件 ・【新規】認知症ステップアップ研修 1 回開催: 40 人参加 令和 4 年度から認知症サポーター養成講座の受講終了者を対象に認知症に関する理解を深め、チームオレンジの活動に参画するなど、実際の支援活動に繋げることを目的に実施した。 ・【新規】認知症フォローアップ研修 1 回 24 人 ○熊取町医療介護ネットワーク連絡会(ひまわりネット)の開催 (年 4 回/うち 1 回研修会) 会員数: 187 人 ・連絡会の取組内容: コロナ禍における困りごと 他 ・研修会の内容: 感染症全般に対する対策について ○医療介護ネットワーク検討委員会の開催(年 2 回) ○認知症施策の推進 ・認知症施策検討委員会の開催(年 2 回) ・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク支援事業の実施 事前登録者数 43 人 協力者、協力機関 138 件 (R5.3 末現在) ・認知症カフェ(通称ひまわりカフェ)の実施 5 回 カフェに取り組む団体数 7 団体 ・徘徊模擬訓練の開催 ※新型コロナウイルスの影響により実施なし ・認知症初期集中支援チームの活動 支援件数: 2 件 チーム員会議: 11 回 訪問件数: 2 回 ・認知症チェックシステム利用実績(令和 3 年度から導入) 家族用 1,504 人 本人用 1,466 人
----	--------------------	--------	--	--

				○見守りネットワーク協力事業者：46 件（R5.2 月現在） ○生活支援・介護予防サービス協議体の開催（1 回）
74	介護事業所等助成事業（介護保険課）	11,305	・急激な物価高騰や新型コロナウイルス感染症に係る対応などの負担を軽減し、町内の介護サービス事業者が安定した事業運営を維持できるよう支援する。	○【新規】介護サービス事業所等支援金 ■給付実績 50 事業者（59 事業所） 11,300 千円 ・施設系（定員 20 人以上）40 万円×14 事業所 （定員 20 人以下）20 万円×5 事業所 ・通所系：15 万円×14 事業所 ・訪問系：10 万円×26 事業所
75	地域密着型サービス事業者の公募による選考（介護保険課）	133	・「いきいきくまとり高齢者計画 2021」にもとづく、地域密着型認知症対応型通所介護サービス事業所等を補助金を活用し整備するため、事業者を公募により選考。	○【新規】地域密着型サービス事業者の選考に係る高齢者保健福祉推進委員会（地域密着型サービス事業者選考部会）を開催 ■公募結果 【認知症対応型通所介護サービス事業者】 ・事業者：株式会社 MNN ・令和 5 年 10 月 1 日開設（予定） 【定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者】 ・応募無し

（16）障がい者福祉

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
76	障がい者自立支援給付費事業（障がい福祉課）	886,402	・障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供を行う。	○自立支援給付事業 ・介護訓練等給付費：実利用人数 356 人 ・身体障がい者（児）補装具購入助成金 実利用人数 52 人 ・自立支援医療費：実利用人数 更生医療 85 人 育成医療 7 人 療養介護 2 人

77	障がい者地域生活支援事業 (障がい福祉課)	49,457	・障害者総合支援法に基づく市町村地域生活支援事業を実施する。	○地域生活支援事業実施 ・移動支援給付費 : 実利用人数 67 人 ・日中一時支援給付費 : 実利用人数 11 人 ・日常生活支援用具購入費等助成金 : 実利用人数 96 人 ・訪問入浴サービス助成金 : 実利用人数 2 人 ・福祉タクシー助成事業 タクシー券交付 : 実利用人数 299 人 ・意思疎通支援事業 派遣回数 41 回 (手話 40 回、要約筆記 1 回)
78	児童発達支援事業 (障がい福祉課)	288,019	・児童福祉法に基づく障がい児通所支援サービスの提供を行う。	○障がい児通所給付事業実施 ・児童発達支援事業 実利用人数 18 人 ・放課後等デイサービス 実利用人数 131 人 ・保育所等訪問支援 実利用人数 8 人 ○軽度難聴児への補聴器購入等助成 1 人
79	障がい福祉サービス事業所等助成事業 (障がい福祉課)	5,900	・急激な物価高騰や新型コロナウイルス感染症に係る対応などの負担を軽減し、町内の障がい福祉サービス事業者が安定した事業運営を維持できるよう支援する。	○【新規】障がい福祉サービス事業所等支援金 ■給付実績 (18 法人 30 事業所) 5,900 千円 ・入所系 (定員 20 人以上) 40 万円×5 事業所 (定員 20 人未満) 20 万円×8 事業所 ・通所系 : 15 万円×12 事業所 ・訪問系 : 10 万円×5 事業所

(17) 地域福祉・社会保障

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
80	①徴収事業 ②保健衛生普及事業 ③医療費適正化事業 (国民健康保険事業特別会計) (保険年金課)	① 3,840 ② 22,190 ③ 1,095	・保険料の収納体制の整備や医療費の適正化の取り組みを推進する。	①徴収事業 ■キャッシュカードを利用した口座振替受付サービスの実施 ・申込件数 380件 (全口座振替申込件数の66%) ■納付コールセンターを活用した現年度未納者に対する電話・文書催告の実施 ・納付勧奨実施件数 2,081件 ■コンビニ収納の実施 ・納付件数 9,073件 (全納付件数の16.77%) ■スマートフォンアプリ収納の実施 ・納付件数 925件 ■税込確保重点月間(12月)及び収納強化週間(5月)の休日・夜間収納相談窓口の開設・訪問徴収の実施 ・利用件数 20件 ■毎月第2・第4木曜日の夜間収納相談窓口の開設 ・利用件数 17件 ■令和4年度徴収率 現年度分 95.95% 滞納繰越分 19.26% ②保健衛生普及事業 ■国民健康保険被保険者健康づくり推進奨励事業(めざせ!がっちり健幸)の実施 ・「健幸で始めま賞」受賞者数 25人 ・「健幸でがっちり賞」受賞者世帯 32世帯 ・「スマホdeドック」受検者数 39人 ③医療費適正化事業 ■医療費通知の実施 年6回送付 計28,077件 ■ジェネリック医薬品差額通知の実施 ・年3回送付 計1,464件 ■医療費適正化啓発パンフレットの配布 ・6,500部購入 保険料本算定時同封

81	①老人医療費助成事業 ②重度障がい者医療費助成事業 ③ひとり親家庭医療費助成事業 ④子ども医療費助成事業 （保険年金課）	① 0 ② 91,682 ③ 28,614 ④161,961	・福祉的配慮が必要な方々の医療費の自己負担額の一部を助成して経済的負担を軽減することで、健康の保持や福祉の増進を図る。	○助成内容 対象者に医療証を交付。1ヶ月に医療機関等1箇所につき500円までの負担有（子ども・ひとり親家庭医療は月2日まで、処方箋による薬局での負担金は不要）。助成を受けたのち、複数受診等で1ヶ月に支払った一部自己負担額の合計が3,000円（子ども・ひとり親家庭医療は2,500円）を超えた額の助成有。 ①老人医療費助成事業（過年度対応のみ実施） ・助成者数（R4年度延べ） 0人 ②重度障害者医療費助成事業の実施 ・医療証交付者数（R5.3.31現在） 767人 ③ひとり親医療費助成事業の実施 ・医療証交付者数（R5.3.31現在） 870人 ④【拡充】子ども医療費助成事業の実施 助成対象を18歳到達年度末まで拡大。 ・医療証交付者数（R5.3.31現在）6,783人
82	未熟児養育医療給付事業 （保険年金課）	205	・福祉的配慮が必要な方々の医療費の自己負担額の一部を助成して経済的負担を軽減することで、健康の保持や福祉の増進を図る。	○未熟児養育医療事務の実施 ・平成25年度から権限移譲により実施 ・対象者に医療券を交付。医療費は町が医療機関（国保連等経由）に支払い、後日自己負担額を徴収。 ・医療券交付者数（R5.3.31現在）1人 ※令和4年度給付実績は1人
83	地域共生社会推進事業 （生活福祉課）	8,461	熊取町第4次地域福祉計画・熊取町第4次地域福祉活動計画に基づき、社会福祉協議会と連携し、計画の実行に取り組む。	○地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業への移行準備事業の実施 ・地域の相談受け止め・地域づくり事業 委託先である熊取町社会福祉協議会に地域づくり支援員を1名配置。地区福祉員会によるいきいきサロンやタピオ体操を活用した地域の情報収集をはじめ、地域の課題を地域で解決できる環境の整備や地域のつながりづくりを強化する事業を実施。アウトリーチによる地域活動への参加の中で地域の課題や問題を収集し、適正な機関や支援につなぐことができた。 ○【拡充】多機関の協働による包括的支援体制構築事業 ・相談支援包括化推進員を1名配置。地域から抽出される課題や問題の解決に向けて多機関との調整やコーディネートを行い、ネットワークの構築に取り組んだ。 また、スーパーバイザーから地域づくりのための社会福祉協議会の取組や地域共生社会の推進に向けた事業の進め方についての助言をいただいた。

大綱4 住みたい、住み続けたい、いつか帰りたいまちをめざします

(18) 市街地整備

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
84	熊取駅西整備事業 (道路公園課)	409,507	・熊取駅西交通広場の整備については、泉佐野市と連携を図りながら用地取得を進め、交通広場の整備工事および熊取駅東西自由通路の昇降設備などの整備工事を実施する。	○熊取駅西整備事業の実施 ・熊取駅西交通広場整備工事(3-1)の実施 (R2 繰越事業：完了) ※R4 現年変更対応分を含む ・熊取駅西交通広場整備工事(R3-2)の実施 (- // -) ※R4 現年変更対応分を含む ・熊取駅西交通広場整備工事(3-1)建築工事監理業務の実施 (- // -) ・電気通信設備移設補償(2 件)の実施 (- // -) ※R4 現年変更対応分を含む ※令和4年12月10日完成・供用開始 (同日開通式実施) 【施設概要】 熊取駅西交通広場 3,200 m ² 熊取駅東西自由通路(新設部) 鉄骨造2階建 377.5 m ² (1階 61.3 m ² , 2階 316.2 m ²) エレベーター2基 (11人乗り×2) 階段 1箇所

(19) 道路・交通

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
85	都市計画道路整備 促進事業 (道路公園課)	3,067	・広域幹線道路である大阪都市計画道路の整備促進を図るため、各事業の推進及び早期事業化に向け国・府に対し強く要望を行うとともに、泉州山手線の整備促進のため貝塚市と合同で七山地区の地籍調査を実施する。	○事業推進及び事業化のための要望活動の実施 ・大阪岸和田南海線の事業推進 ・大阪外環状線の4車線化 ・泉州山手線の事業化 ※大阪岸和田南海線の整備状況 【第1期事業区間】 ・物件調査、電線共同溝整備工事の実施

				【第2期事業区間】 ・電線共同溝等詳細設計 ・用地測量(泉佐野打田線～雨山川・大阪外環状線交差点部)、物件調査、用地買収の実施 ※泉州山手線の整備状況 〔本町整備促進支援状況〕 ・七山北地区の地籍調査継続実施(貝塚市と合同実施) 調査面積：約 70,000 m² ・地籍図・地籍簿作成、地権者閲覧の実施(業務完了)
86	道路新設改良事業 (道路公園課)	98,364	・地域幹線道路網等の整備を行う。	○町道久保高田線歩道拡幅事業の実施 ・町道久保高田線歩道拡幅工事(R4-1)、(R4-2)の実施 ・電気通信設備移設補償(1件)の実施 ※令和5年2月20日完成・供用開始 【整備概要】 (整備前) 車道 7.0m・歩道 1.0m (整備後) 車道 7.0m・自転車歩行者道 4.5m
87	道路維持事業 (道路公園課)	225,382	・道路舗装修繕など、道路施設の適切な維持管理を実現する。	○「くまとりアドプト・ロード・プログラム」の実施 ・道路の一定区間の清掃や緑化活動等を継続的に実施する団体の支援を実施 ○地域の魅力づくりプロジェクト〈熊取〉推進協議会への補助の実施 ・熊取駅周辺の緑化を行う緑化プロジェクトに対する経費の補助(桜の植付(駅西交通広場)、サルスベリの植栽(夢広場)など) ○「熊取町道路橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、老朽化対策を実施 ・休場橋橋梁修繕工事の実施 ・神楽橋橋梁修繕設計業務の実施 ○道路施設点検事業の実施 ・ボックスカルバート(8ヶ所)の長寿命化修繕計画の策定 ・道路橋梁(38橋)の点検業務の実施 ・道路照明灯(52基)の点検業務の実施 ※3ヶ年計画：R4年度末現在 192/243基 点検済 ○道路舗装修繕事業の実施 ・道路舗装路面性状調査(114.7km)業務の実施 ※対象：幹線道路(1級・2級町道)・バス路線など ・「熊取町道路舗装修繕計画」に基づく優先順位により計画的に舗装修繕を実施(車道 5,401 m²)

				○道路台帳補正業務の実施 ・延長 L=3.4km
88	交通安全施設整備事業 (道路公園課)	17,996	・交通安全施設の整備を行う。	○交通安全施設の設置(道路反射鏡・区画線等) ・道路反射鏡設置 2基 ・区画線設置 3,400m ・交差点カラー化 2箇所(38㎡) ○通学路における路側帯のカラー化等 ・路側帯カラー化 1,093m(389㎡) 町道五門久保小谷線 224m(89㎡)、町道五門和田線 286m(114㎡) 他 ○久保交差点における交通安全対策の実施 ・区画線の引き直しによる交差点のコンパクト化、ポストコーン設置による狭さくの実施
89	町内循環バス運行事業 (道路公園課)	58,617	・町内の主要公共施設等と各地域を結ぶバスの運行を行う。 ・将来においても持続可能な新たな交通体系の構築に向けた調査・研究を行う。	○町内循環バスの運行 ・運行内容 全4コース(年末年始・祭礼(だんじり祭)の日のみ運休) 平日:第1便から第8便の運行 土日祝:第2便から第7便の運行 (5月~8月は第8便も運行) ※令和4年度熊取町版緊急生活・経済支援による町内循環バスの無償運行 ・乗車人数 84,633人 ・臨時運行 10便(10日) ○熊取町公共交通会議の開催 ・計4回開催 委員数9名 ○AI オンデマンド交通実証実験の再実施 ・実施期間:R4.9.15.~R4.11.14.(2ヶ月) ・実施地区:6自治会/39自治会 ・目的地:9ヶ所(熊取駅、公共施設、商業施設、病院など) ・利用者:49名・延べ205名、運行日数58日・運行回数165回 ・利用者アンケート回答数:64部(うち有効回答40部) ○令和4年度熊取町公共交通検討業務の実施 ・公共交通ワークショップ(参加者13名)運営支援など

(20) 下水道

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
90	資本的収支 下水道建設事業 (下水道事業会計) (下水道河川課)	504,862	・ 公共下水道未整備地区への主要管渠の延伸及び各戸への面整備を推進。 ・ 国の交付金を活用し、下水道施設の点検・調査、修繕・改築を行い、施設全体の維持管理の最適化に努める。	○小垣内、大宮及び久保地区において、公共下水道工事の実施 ・ 公共下水道布設工事 (R3-2) (※) <u>(※) R3 からの繰越。施工実績は R4 へ計上。</u> ・ 公共下水道布設工事 (R4-1～5) ・ 公共汚水ます設置工事 (R4-1) ・ 令和 4 年度末整備面積 623.8ha (対前年度 5.6ha 増) ・ 人口普及率 83.8% (対前年度 0.6 ポイント上昇) ・ 令和 4 年度施工実績施工延長 L = 1,969m (令和 3 年度繰越分 365.3m 含む) ○大宮及び緑ヶ丘地区における設計業務委託の実施 ・ 公共下水道実施設計業務 (R4-1) ・ 公共下水道実施設計業務 (R4-2) ○マンホールポンプ施設更新工事の実施 ・ マンホールポンプ施設更新工事 (R4-1) ・ No.8 マンホールポンプ場施設緊急更新工事 (R4-1) ・ No.28 マンホールポンプ場施設緊急更新工事 (R4-2) ○希望が丘、山の手台地区等において、管渠施設の点検・調査を実施 ・ 管渠施設点検調査業務 (R4-1)
91	収益的収支 計画的で持続可能な事業運営 (下水道事業会計) (下水道河川課)	3,065	・ 安定的に下水道事業を継続するため、経営の効率化・健全化を図る。	○下水道使用料改定を検討 独立採算を目指し、令和 6 年 4 月に使用料改定を実施 〈検討の経過〉 ・ 公認会計士事務所へ業務委託し、収支シミュレーション案を作成 ・ 下水道事業経営委員会へ諮り意見を聴取 〈改定に際して留意した事項等〉 ・ 公営企業としての新たな算定方法である「下水道使用料算定の基本的考え方 ((公社) 日本下水道協会)」に基づいた料金算定を実施する。 ・ 基本使用料を可能な限り確保する ・ ボリュームゾーンを意識した料金設定とするが、水量の少ない高齢世帯等への福祉的配慮をする一方で大口利用者へ過度な負担にならないよう留意する。 ・ 一般会計からの基準外繰入に頼らない財政運営を目指す。

(21) 公園・自然環境

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
92	緑化対策事業 (道路公園課)	8,725	・永楽ダム周辺の桜の景観を次の世代へと引き継ぐために、樹勢の衰えている樹木の回復や、植替え、補植を計画的に行う。	○永楽ダム周辺桜保全業務の実施 ■永楽桜保全委託業務 (R4-1) ・桜が植えられている箇所の雑木の伐採及び桜の植栽 (50 本) を実施
93	公園整備事業 (道路公園課)	50,578	・まちなかの公園の施設更新整備を行う。	○「熊取町公園施設長寿命化計画」に基づき、奥山雨山自然公園の施設更新及び長池オアシス公園の駐車場整備等を実施 ■奥山雨山自然公園施設更新工事 (R4-1) ・奥山雨山自然公園の階段の整備を実施 ※社会資本整備総合交付金 15,000 千円の活用 ■長池オアシス公園駐車場整備工事 (R4-1) ・長池オアシス公園の駐車場の整備を実施 ■長池オアシス公園施設更新工事 (R3-3) ・長池オアシス公園の園路等の整備を実施 (R3 繰越事業：完了)
94	公園維持管理事業 (道路公園課)	88,677	・都市公園の適切な維持管理を行う。	○永楽ゆめの森公園の指定管理者による管理運営を実施 ・指定管理者：株式会社ハウスビルシステム ・指定期間：令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 ○都市公園施設の更新及び修繕工事を実施 ■つばさが丘 2 号公園整備工事 ・つばさが丘 2 号公園にベンチ等を設置 ■都市公園照明灯更新工事 ・公園内 (13 公園) の照明灯について LED 化 (18 基) を実施 ※公園内の照明灯 (137 基) に対し 5 カ年 (R3～R7) で LED 化を図る。
95	町有林管理事業 (道路公園課)	3,204	・森林の持つ多面的な機能を発揮するため、町有林の保全を行う。	○町有林の保全業務を実施 ■町有林ナラ枯れ防除他業務 ・町有林 (奥山雨山自然公園) のナラ枯れ被害木の伐倒並びに害虫駆除 (51 本) を実施 ※森林病虫害等防除事業補助金 1,312 千円を活用 ※森林環境譲与税 5,060 千円については未執行のため全額基金積立金へ 【基金積立金合計：12,195 千円 (R5.3.31 時点)】

(22) 住環境

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
96	公害対策事業 (環境課)	522	・水質、騒音等の環境監視を引き続き 行うとともに、各種の公害対策につ いて、公害が発生すれば大阪府と連 携して問題解決に向けて取り組む。	○町内3河川(見出川・住吉川・雨山川)の水質検査の実施 ・検査回数 年4回 ○環境騒音測定の実施 【道路に面する地域:2カ所】 ・検査回数 年1回 【一般地域(道路に面する地域以外の地域):17カ所】 ・検査回数 17カ所を3グループに分け、毎年1グループずつ1回
97	環境一般事務経費 (環境課)	1,124	・町内における環境保全のひとつとし て行う飼い主のいない猫の不妊・去 勢活動を支援し、町内の野良猫頭数 の抑制に取り組む。 ・第2期熊取町一般廃棄物処理基本計 画(中間見直し版)やくまとりプラ スチックごみゼロ宣言に基づき、廃 棄物の減量化や海ごみゼロのため の啓発・教育を実施する。 ・マイボトルの普及啓発及び食品ロス の削減に取り組む。	○飼い主のいない猫不妊去勢手術費用補助金 ・補助実績 @5,000円/頭×42頭 @4,000円/頭×2頭 @3,800円/頭×3頭 @3,300円/頭×1頭 ○【新規】どうぶつ基金さくらねこ無料不妊手術事業(行政枠)へ参加を検討 ・さくらねこ無料不妊手術チケットを活用し、地域猫を適切に管理する地域 猫活動に対する支援制度の検討及び構築を行った。 ○環境教育セミナー ・R4.6.10~7.5 計5校 対象:町内小学4年生401名 ○環境セミナー R4.7.29開催 ・参加者:子ども6名、保護者5名 ○環境フェスティバル(来場者:1500名) ○廃棄物減量等推進員委嘱式及び研修会 ・令和4年7月14日開催 ・参加者 24名 ○廃棄物減量等推進員視察研修 ・令和5年3月24日開催 ・参加者 7名 ○熊取町エコプロジェクト 【プラごみ削減施策】 ・【新規】マイボトル用給水機を設置可能な公共施設(ひまわりドーム、永楽 ゆめの森公園)、各小学校に設置した。 (各小学校:熱中症対策含む)

				【食品ロス削減施策】 ・お持ち帰りや小盛り対応協力可能な町内飲食店の登録制度（熊取町 mottoECO 食べきり協力店制度）の継続 ・各公共施設窓口でフードドライブ窓口（常設）の継続 各公共施設に設置の食品回収窓口（フードドライブ）で回収した食品をフードバンク、町内子ども食堂等へ寄付するなど、様々な取組みを実施した。
98	町営斎場運営事業 （環境課）	30,217	・火葬に関する業務を支障なく遂行するため、補修計画等に基づき、火葬炉等の補修を行い適正な管理運営に努める。	○火葬の実施 ・実施件数 464 件 ○補修計画に基づく補修の実施 ・2号炉の改修、排風機冷却用循環ポンプ及びVベルト緊急取替修繕
99	一般管理費 墓地基金積立金事業 （墓地事業特別会計） （環境課）	22,857	・熊取永楽墓苑の適切な維持管理を行う。	○墳墓の追加募集（使用許可書の発行） ・件数 15 墓 ○熊取永楽墓苑の維持管理 ・指定管理者による除草、清掃、修繕等
100	環境美化推進事業 （環境課）	2,665	・大阪でいちばんきれいなまち「くまとり」をめざして、地域住民との協働により美化活動を推進する。	○路上喫煙禁止区域の指定等 ・平成25年10月 JR熊取駅前周辺、夢広場、町道熊取駅前線の路上喫煙禁止区域に指定 ・路上喫煙禁止等の周知（啓発物品配布） ・年間を通じて職員、安全パトロール隊による指導啓発、パトロールを実施。 ・路上喫煙禁止区域周知用路面シートの購入 ○【拡充】美化重点地域・路上喫煙禁止区域の追加 ・令和4年12月 熊取駅西交通広場を美化重点地域・路上喫煙禁止区域に追加 ○自治会等による環境美化清掃活動の支援 ・環境美化強調月間を中心とした環境美化清掃活動を実施する自治会に、ごみ袋（28,000枚）、軍手（12,030双）を配布 ・住民の環境美化意識の醸成に繋げるために環境美化功労者に表彰状を贈呈（13団体） ○「第2次美しいまちづくり推進基本計画」及び「第1期美しいまちづくり行動計画」により事業実施。

(23) 循環型社会

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況																				
101	環境センター運営 事業 (環境センター)	423,491	・適切かつ効率的なごみ処理体制の整備を行う。	○ごみ処理広域化 ■広域化に係る会議等 ・ごみ処理広域連携検討会 6回実施 ・ごみ処理広域連携検討会担当学会議 8回実施 ・住民説明会 9回 ・環境施設広域化調査特別委員会(熊取町議会) 1回実施 ・令和4年11月 新ごみ処理施設整備運営事業者選定委員会の設置 ・令和5年3月 新広域ごみ処理施設整備に係る経費の負担に関する協 定書締結(令和4年度分) ■広域化施設整備に係る契約業務 ・業 務 名: 新ごみ処理施設整備事業に係る施設整備基本設計策定及び 環境影響評価等業務・・・α ・契約金額: 302,665,000円(税込) ・契約期間: 令和3年度～令和6年度 ・契約業者: 株式会社建設技術研究所大阪事務所 ■広域化施設整備業務に伴う負担金 ・熊取町負担金額: 14,213,532円(税込) (内訳) ・建設業務に係る調査業務負担金: $14,047,656円 \cdots (①-②) \times ③$ - 業務αR4分出来高支払額 149,358,000円・・・① - 廃棄物処理施設整備交付金 77,989,000円・・・② - 熊取町負担率(均等割15%+搬入量割85%) 19.68313458%・・・③ ・新ごみ処理施設に係る事務負担金: $165,876円 \cdots ④ \times ⑤$ - 新ごみ処理施設に係る事務経費(旅費、説明会用機材等) 497,627円・・・④ - 熊取町負担率(均等割) 1/3……………⑤ ○ごみ処理量(搬入量) (単位: +) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>可燃ごみ</th><th>資源ごみ</th><th>粗大ごみ</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2年度</td><td>9,787</td><td>1,318</td><td>1,785</td><td>12,890</td></tr> <tr> <td>R3年度</td><td>9,754</td><td>1,354</td><td>1,649</td><td>12,757</td></tr> <tr> <td>R4年度</td><td>9,491</td><td>1,292</td><td>1,456</td><td>12,239</td></tr> </tbody> </table>		可燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	合計	R2年度	9,787	1,318	1,785	12,890	R3年度	9,754	1,354	1,649	12,757	R4年度	9,491	1,292	1,456	12,239
	可燃ごみ	資源ごみ	粗大ごみ	合計																				
R2年度	9,787	1,318	1,785	12,890																				
R3年度	9,754	1,354	1,649	12,757																				
R4年度	9,491	1,292	1,456	12,239																				

				○「リサイクル品提供事業」平成 20 年度より事業開始 <table><tr><td></td><td>実施月</td><td>来場者数</td><td>譲渡点数</td></tr><tr><td>R2 年度</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>R3 年度</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>R4 年度</td><td>11 月</td><td>381</td><td>34</td></tr></table> ※令和 2、3 年度の事業は中止。 ○長期維持補修計画に基づく修繕 ■B 系給じん装置整備業務 ・契約の相手方：荏原環境プラント(株) ・履行期間：令和 4 年 4 月 28 日から令和 4 年 10 月 31 日まで ・契約金額：49,500,000 円(税込) ■排ガス冷却器整備業務 ・契約の相手方：荏原環境プラント(株) ・履行期間：令和 4 年 7 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで ・契約金額：37,400,000 円(税込)		実施月	来場者数	譲渡点数	R2 年度	—	—	—	R3 年度	—	—	—	R4 年度	11 月	381	34
	実施月	来場者数	譲渡点数																	
R2 年度	—	—	—																	
R3 年度	—	—	—																	
R4 年度	11 月	381	34																	
102	地球温暖化対策事業 (環境課)	13,205	・地球環境に配慮した行動が進められるよう、地球温暖化対策実行計画に基づき、温暖化対策の普及促進を図る。 ・脱炭素化に向けた取組みを町全体に広げていくため、温室効果ガス削減目標や取組施策等を掲げた熊取町再生可能エネルギー導入戦略及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、併せて計画（事務事業編）の見直しを行う。	○第 4 次熊取町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく取組 ・地球温暖化対策推進委員会及び同作業部会の開催 年 2 回 ・令和 3 年度 温室効果ガス排出量実績の評価 ・平成 25 年度（計画基準年度）比 32.6%の削減 ・各推進員年間行動計画の作成及び中間自己評価 ○【新規】【熊取町再生可能エネルギー導入戦略及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定】 ◀脱炭素住民会議の開催▶ ・第 1 回住民会議：令和 4 年 8 月 22 日開催 ・第 2 回住民会議：令和 4 年 11 月 10 日開催 ・第 3 回住民会議：令和 4 年 12 月 20 日開催 ・第 4 回住民会議：令和 5 年 1 月 19 日開催 ○【新規】【地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改定】 ◀第 1 回臨時会▶ ・作業部会：10 月 12 日開催 ・委員会：10 月 25 日開催 ◀第 2 回臨時会▶※書面開催 ・作業部会：1 月 17 日～20 日（各部長情報共有） ・委員会：1 月 24 日～27 日																

103	ごみ収集事業 (環境課)	211,845	・粗大ごみ・不燃ごみ回収の利便性の向上を図る。 ・一般廃棄物の排出抑制や減量化、再資源化の推進を図る。	○小型不燃ごみの拠点回収の実施 ■公共施設2カ所において回収（役場及び駅下にぎわい館） ・開始日 平成26年度4月1日 ・受付件数 （役場） 264件 328袋 （駅下） 257件 291袋 ■指定袋等取扱所3カ所において回収 ・開始日 平成29年4月1日 ・受付件数 2件 3袋 ○使用済み小型家電の回収 ・開始日 平成26年7月1日 ・公共施設6カ所に回収ボックスを設置 ・回収量 1398.44kg
104	し尿処理事業 (環境課)	72,460	・令和3年度から泉佐野市田尻町清掃施設組合へのし尿処理事務の委託化を開始。	○令和3年4月1日事務委託開始 【令和4年度委託処理実績】 ・し尿 6,753.8l k l ・浄化槽汚泥 5,200.19 k l ・合計 11,954.00 k l
105	旧し尿処理場維持 管理事業 (環境課)	4,429	・旧大原衛生公苑跡地の除草等維持管理 ・旧大原衛生公苑の跡地利用において、土壌汚染調査を行う。	○除草業務 ○土壌汚染状況地歴調査 ○施設撤去工事

(24) 商工業・サービス業

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
106	商工業振興事業 (産業振興課)	43,001	・商工会が実施する事業への支援を行い、地場産業の振興及び活性化を図る。	○商工業が実施する事業への支援の実施 ■農業祭との同時開催、わいわいフェア（商工会わいわいフェア実行委員会主催） ・開催日：令和4年12月4日 ・補助金：200,000円 ■熊取コロッケ販売促進への支援 ・店舗等販売実績 108,410個

			・燃料価格・物価高騰の影響を受けて経営に深刻な影響を被っている町内事業者を支援する。	○熊取町物価高騰対策事業者給付金の交付 ■令和4年4月～11月のいずれかの月の売上額が令和元年、令和2年又は令和3年のいずれかの年の同じ月と比べて売上高が10パーセント以上減少していることなどを条件として、法人に10万円、個人及び農業事業者に5万円を交付した。 ・申請期間：令和4年12月1日～令和5年3月10日 ・交付決定数：532件（申請総数 536件） ・交付総額：34,450,000円
107	産業活性化基金事業 （産業振興課）	24,427	・町内中小企業者の経営安定に資するため、府の制度融資の斡旋や町融資制度を利用した方に対し信用保証料を補助するとともに、新たなチャレンジをする人を支援し、町の産業を活性化するため、新ブランド創造、創業者、農業者、中小企業者への補助事業を実施した。	○【拡充】産業活性化基金事業の実施 ■熊取ブランド創造支援事業 ・ブランド施策等推進活動事業補助金：2件 1,000,000円 ・商品化促進支援事業補助金：3件 2,250,000円 ・販売力強化支援事業補助金：1件 500,000円 ■「くまとりやもん」販売促進事業 ・認定商品販売促進事業補助金：1件 60,800円 ・「熊取コロッケ」販売促進事業補助金：52件 2,278,700円 ・戦略作物栽培補助金：11件 195,300円 ■熊取ブランド・にぎわい創造支援事業 ・地域・産業活性化等イベント支援事業補助金：1件 500,000円 ■創業支援事業 ・駅周辺近隣商業地域事業所開設支援補助金：2件 2,250,000円 ・駅周辺指定地域飲食業支援補助金：1件 9,874,700円 ・町内遊休不動産を有効活用した開設支援補助金：1件 500,000円 ■6次産業化支援事業 ・販売力強化支援事業補助金：1件 441,400円 ■農業事業者支援事業 ・スマート化による農業生産性向上補助金：1件 1,000,000円 ・農業用ハウス建設補助金：1件 3,000,000円 ■中小企業経営支援（信用保証料）事業 ・信用保証料補助金：4件 172,600円 ■中小企業経営支援（利子補給金）事業 ・小規模事業者経営改善資金融資（マル経）：30件 433,800円

108	地域振興券事業 (産業振興課)	228,908	・新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けている住民生活及び地域経済を支援し、地域振興を目的に、町内の店舗で使用できる地域振興券を住民に交付する。	○地域振興券の実績 ・使用期間 : 令和4年10月1日～令和5年1月31日 ・交付者数 : 43,172人 ・交付振興券総額: 215,860,000円 ・換金振興券総額: 211,225,500円 ・換金率 : 97.9%
-----	--------------------	---------	--	---

(25) 農林業

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
109	農業振興事業 (産業振興課)	10,989	・地産地消の取り組みを推進する。	○品評会の実施、野菜出荷協議会等への助成 ・8月、12月品評会 8月(2回:品評会、夏野菜市)、12月(1回:品評会) ○「第11回熊取ふれあい農業祭」の開催 ・地元産農作物の良さを知っていただく機会を提供 ・わいわいフェア等との合同抽選会の実施 ・開催日 令和4年12月4日 ・来場者数 約7,000人
			・農地の多面的な活用を図ることにより、農業に関する理解の高揚を図る。	○町立5小学校における農業体験学習の実施(植え付けから収穫まで) ・中央小学校「米」 北・東・南・西小学校「さつまいも」 ○町内11箇所レクリエーション農園の幹旋
			・有害鳥獣の防除を推進し、農作物の生産性の向上を図る。	○アライグマ対策の実施 ・貸出捕獲檻 延べ85台 ・捕獲頭数 42頭 ○イノシシ対策の実施 ・鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金を利用し、熊取猟友会に捕獲依頼。 ・捕獲檻 47台(ほか、捕獲罠等) ・捕獲頭数 57頭
			・新規就農者への支援	○認定新規就農者への支援 ・経営が不安定な就農直後の所得の安定の確保を目的に、最長5年間、年間最大150万円 新規就農者4名5,250,000円(1,500,000円×3名+750,000円×1名)

			・遊休農地対策事業補助金により遊休化した農地の解消を図り、再活用をする者に対し、補助金を交付する。	○遊休農地対策事業補助金 ・新規就農者 0名
--	--	--	---	---------------------------

(26) 観光・交流

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
110	地域活性化事業 (産業振興課)	53,302	・観光振興（にぎわいづくり）によるまちづくりの推進を行う。	○【拡充】熊取町駅前観光案内所：駅下にぎわい館の運営 ・観光案内に加え、地場産野菜や「くまとりやもん♪」等の物販や手荷物の一時預かり、携帯電話充電サービスなど利用者の利便性を高める取組みを実施した。とりわけ、物販については、当所の運営団体であるくまとりにぎわい観光協会において「くまとりやもん♪」を中心とした特産品等の物販のためのECサイトの運用を開始した。 ・令和4年度観光案内所利用実績 32,892人 ・観光協会運営補助：13,525,000円 ○堺市以南、9市4町の泉州地域一帯で連携したプロモーションの実施 ・（一社）KIX泉州ツーリズムビューロへの補助金交付：2,725,000円 ○【拡充】果樹農園支援事業 ・運営支援を行なっている野外活動ふれあい広場近傍地にあるブルーベリー農園「和田山 BERRY PARK」第1・2農園のユニバーサル化を含めた排水改良のための整備を実施した：7,490,000円 ○野外活動ふれあい広場多目的用途用地購入 ・野外活動ふれあい広場臨時駐車場等に活用できる多目的用途用地を取得した：27,167,900円 取得用地面積 2384.33㎡

(27) 雇用・就労

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
111	地域就労支援事業 (産業振興課)	664	・勤労支援策として、就労機会の創出、提供を行う。	○地域就労支援事業の実施 ・就労支援相談（月、水 午後1時～5時） ・相談者数 10人 ○就業資格取得支援助成金の実施 ・利用者 2人

大綱5 健全で安定した持続可能なまちをめざします

(28) 行財政運営

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
112	くまとりふるさと 応援寄附事業 (企画経営課)	646,993	・地場産品を中心とした謝礼品を贈呈することにより、自主財源の確保を図る。	○【拡充】「くまとりふるさと応援寄附」制度の拡充 ・謝礼品のメニューを、約1,100種類に拡充。 ・web上のポータルサイトを1つ追加し、合計4つのポータルサイトを通じて寄附を募集。 ○寄附実績 6,498件 1,270,369,238円
113	転入・定住促進事業 (企画経営課・税務課)	5,650	・町内での3世代近居等のための住宅取得を補助金(課税免除)により支援する。 ・社宅等を所有又は賃借した法人に対して補助金により支援する。	○3世代近居等支援(補助金) ・補助金交付実績:5,500,000円 55件(うち転入:21件)×10万円 ・家屋調査案内に制度周知チラシを同封。 ○3世代近居等支援(課税免除) ・令和4年度課税免除件数 205件(うち転入77件) ○社宅誘致支援 ・補助金交付実績:150,000円 1件×15万円
114	行政改革推進事業 (財政課)	212	・町の行財政改革推進に係る必要な助言及び提言をいただくため、行政改革審議会を開催する。	○行政改革審議会の開催(計5回) ・【新規】第4次行財政構造改革プラン及び同アクションプログラムの策定等 ・第3次行財政構造改革プラン「アクションプログラム」の令和3年度実績報告
115	電子計算システム 整備事業 (情報政策課)	72,232	・法改正等にもなう電子計算システムの開発・改修を行う。	○【拡充】行政手続きのオンライン化拡大 子育て・介護関連手続きについて、マイナポータルからマイナンバーカードを用いた電子申請を開始した。 ○【新規】窓口でのキャッシュレス決済の開始 住民票や印鑑登録証明書、課税証明書など主な証明書の交付において、窓口で手数料を支払う際のキャッシュレス化を開始した。 ○【新規】チャットツールの導入 職員間のコミュニケーションの円滑化のため、チャットツールを導入し、業務の効率化を図った。

116	戸籍事務事業 (住民課)	38,055	・自動交付機廃止（令和元年5月1日廃止）にかかる新たなサービスとして、マイナンバーカードを利用した住民票・戸籍謄抄本等のコンビニ交付サービスを導入する。 ・コンビニ交付サービス導入にあわせ、行財政改革の観点から、駅下にぎわい館における証明書等交付サービスを終了（平成31年3月31日をもって終了）	○コンビニ交付サービス ・H31年4月16日利用開始 ・利用可能時間：午前6時30分～午後11時 ・取得できる証明書：住民票、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、戸籍の附票 *戸籍については、住民登録が本町以外であっても、本籍地が本町の場合、取得できる本籍地証明に対応 ・手数料については、窓口より100円減額 ・コンビニ交付稼働率 27.3% (R3年度21.4% R2年度12.4% R1年度6.6%) ○マイナンバーカード交付状況 ・マイナンバーカード交付件数： R4年度末累計30,211件 R4年度単年9,585件 年度末累計件数（R3：20,626 R2：14,563 R1：7,552） ・マイナンバーカード交付率： R4年度末70.0% 対前年度比22.5P増 年度末交付率（R3：47.5% R2：33.3% R1：17.3%） ○マイナンバーカード交付にかかる休日開庁：月1回 (R2、R3年度：月1回 R1年度5回（5・8・11・2・3月）開庁) ○マイナンバーカード交付にかかる夜間開庁：月2回 (R2.2月より実施) ○タブレット端末を利用したマイナンバーカードオンライン申請（R2.2.19～）及び本人限定受取郵便による交付 ・タブレット1台増設（R2.8.17～ 計2台） *本人限定受取郵便による 申請件数：R4年度末289件（R3：248件 R2：1,270件 R1：113件） 交付件数：R4年度末326件（R3：376件 R2：1,187件 R1：57件） ○新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせていた出張申請を感染拡大状況に注視しながら実施 ・出張申請：72件 申請サポート：0件 (R3年度出張申請 1件、申請サポート 1件) (R2年度出張申請 試験実施：12件)
-----	-----------------	--------	---	--

117	旅券発給事務経費 (住民課)	30	・大阪府から事務移譲を受け、旅券発給事務を開始。	○身近な窓口で旅券発給手続きができることによるさらなる住民サービスの向上 ・H30年10月1日から開始 ・R4年度申請件数 523件 (R3:141件 R2:164件) ・R4年度交付件数 484件 (R3:143件 R2:224件) ○旅券発給事務開始にあわせ、役場庁舎内に自動証明写真機を設置 ・通常の行政財産使用料に加え、売上げ手数料にかかる行政財産使用料を徴収: R4年度 242,500円 (R3 158,160円 R2 186,880円) (内訳) 行政財産占用分: R4年度 10,800円 (R3 12,000円 R2 14,400円) 行政財産手数料分 (35%): 231,700円 (R3 146,160円 R2 172,480円) ※写真売上げ 742枚 (R3年度 522枚) 662,000円 (R3年度 417,600円)
118	職員給与関係事業 (一般管理費特別職分) (教育委員会費教育長分) (人事課)	37,636 (24,862) (12,774)	・第3次行財政構造改革プランに基づき、人件費の削減を行う。	○町長の任期中、常勤特別職職員の給料を削減 ・町長: 平成28年3月3日から20%削減 月額 760,000円 → 608,000円 ・副町長: 平成30年4月1日から10%削減 月額 646,000円 → 581,400円 ・教育長: 平成30年4月1日から5%削減 月額 598,000円 → 568,100円
119	①徴収率向上事業 ②町税収納整理事業 (収納対策課)	①8,471 ②3,008	・積極的な滞納整理を実施する等、自主財源の確保を図る。	○令和元年10月から「地方税共通納税システム」によるサービスが開始された。 令和4年度実績 (町府民税 (特徴) 及び法人町民税) ・入金件数 5,401件 (前年比+1,758件) ・入金額 244,786,256円 (前年比+97,772,756円) ○納税者等の更なる利便性向上のため、令和5年4月からの「地方税共通納税システム」による対象税目【軽自動車税・固定資産税・町府民税 (普徴)】、及びクレジットカード等の電子的納付の拡大に向け取り組んだ。 ○昨年度も引き続き、町税の徴収を推進するため大阪府及び府内37市町村で構成する大阪府域地方税徴収機構へ参加した。 ・滞納繰越分徴収率 39.1% ・機構引継分徴収率 90.7% ・現年・滞納繰越合計徴収率 98.8% (合計徴収率前年度比 同ポイント) ○納付コールセンターを活用した現年度課税分未納者に対する電話・文書等の催告実施

120	職員一般事務経費事業 (総務課)	16,082	・文書管理・電子決裁システムを導入することにより、事務の効率化を図るとともにペーパーレス化による用紙代やキャビネットなど、経費や場所に係るコストを削減する。	○文書管理・電子決裁システムの導入（金額は税込） ■システムの開発に係る委託料 ・費用 14,791,700 円 ・契約期間 令和4年6月29日～令和4年12月31日 ■情報システムクラウドの使用料 ・費用 25,786,200 円（60 か月分）※429,770 円/月 ・契約期間 令和5年1月1日～令和9年12月31日 ※スマートシティ戦略推進補助金 5,000,000 円 ○文書管理・電子決裁システムの導入に伴う紙の使用枚数（本庁分） 令和4年1月～3月（システム導入前）549,283 枚 令和5年1月～3月（システム導入後）469,668 枚 ⇒79,615 枚（14.5%）の削減
121	庁舎維持管理事業 (総務課)	3,241	・平成28年度に策定した「熊取町公共施設等総合管理計画」及び令和元年度に策定した「熊取町役場庁舎・消防団分団器具庫個別施設計画」に基づき、庁舎の長期的な更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行う。	○熊取町庁舎北館裏倉庫改修工事 ・費用 3,240,600 円 ・工期 令和4年8月4日～令和4年11月15日
122	広報公聴事業 (総務課)	0	・パブリックコメント制度を実施し、住民の意見や提案をいただく機会づくりに努める。	○「パブリックコメント制度の運用」 ・実施件数 6 件 ・意見数 38 件

(29) 情報の公開

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
123	町長等活動事業 (広報戦略課)	1,417	・町長と住民の忌憚のない対話を通じて、町長が行政施策を住民に公開すると共に、住民の町政に関する要望、意見等を把握し、これを行政施策に反映させることにより、住民の行政への参画を図ることを目的とする。	○タウンミーティング ・小学校区単位で5回開催（参加者188人）
124	広報事業 (広報戦略課)	10,501	・行政情報や地域情報など、住民が必要とする情報の提供を行う。	○広報誌の発行（12回）

125	ホームページ管理 事業 (広報戦略課)	2,499	・ホームページ等で積極的に情報を提供し、住民と行政情報の共有化を図る。	○ホームページの運用・管理 ・利用者の皆様が必要な情報に簡単にたどりつき、より多くの情報を得られるよう、令和4年2月にリニューアルを実施したホームページの運用・管理。
126	広報戦略事業 (広報戦略課)	2,255	・正確、迅速な情報発信に加え、積極的な（攻めの）情報発信、自ら情報を探し出す、既存の媒体を最大限活用することにより、戦略的な情報発信を行う。	○情報発信の専門業者との委託契約に基づく助言を踏まえた戦略的な情報発信 ○【拡充】公式SNSアカウントの開設 ・公式YouTube、公式Instagram ○町の魅力向上のための動画配信 ○ドローン操作技能に係る職員の育成

(30) 多種多様な連携

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
127	町内大学連絡会運営事業 (企画経営課)	2	・町内大学・研究所との協調関係を築き、地域の振興及び活性化等を図るための情報交換を行う。	○大学連携懇談会の開催 ・令和4年4月7日 ○熊取町内大学連絡会の開催 ・令和4年4月15日 書面開催 ○町内大学・研究所との連携事業 71事業
128	公民連携事業 (企画経営課)	0	・持続可能なまちづくりの実現に向け、公民連携による取組を推進する。	○【新規】公民連携デスクの設置（令和4年10月1日設置） 企業と事業担当課のニーズをマッチングすることにより、令和5年度から、公民連携事業として3事業実施。

(31) シティプロモーション

	事業名 (所管課)	決算額 (千円)	事務事業概要	事業内容・成果及び実施状況
129	シティプロモーション事業 (広報戦略課)	12,767	・「熊取ブランド」向上のため、広報戦略のもと熊取町の更なるイメージアップを図る。	○若年者向け情報誌及びPR動画『熊取ものがたり』を使用したプロモーションの実施 ・情報誌の配布 ・PR動画：町公式YouTubeでの配信 ○メディアへの掲載等 ・泉州広告株式会社出版物への掲載 情報誌ぱど「地元企業のええもん」、「お住まいまみたん」など ・テレビ等での放映 J-COM「長々と散歩」 令和4年10月放送

				J-COM「LIVE ニュース泉州」令和4年12月放送 F C大阪との協働によるインターネット番組「くまとりTV」の配信
130	町制施行70周年 記念事業 (企画経営課・総務課)	6,121	・町制施行70周年という節目を町民のみなさんと祝うとともに、これまで先人が築いてきたわが“まち”を改めて知り、感じることで、さらなる愛町心を高め、確かな未来への夢や希望を育む機会とする。	○「町制施行70周年記念事業」の実施 ・70周年記念コンサート 「広瀬香美 香美別邸2022～ピアノ弾き語りライブ～」 令和4年7月24日 ひまわりドームメインアリーナ 参加者1,165人